平成30(2018)年度

化学専攻

セミナー 概要(シラバス)

2018年4月1日

大阪大学大学院理学研究科

目 次

1	化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 前期課程	8
	インタラクティブセミナー II(化学専攻)	9
2	化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 後期課程	10
	インタラクティブ特別セミナー 1(化学専攻)	11
	インタラクティブ特別セミナー 2 (化学専攻) \dots	12
3	化学専攻 Αコース前期課程	13
	(春~夏学期) 核化学半期セミナー AI	14
	(春~夏学期) 核化学半期セミナー AII	15
	(春~夏学期) 核化学半期セミナー BI	16
	(春~夏学期) 核化学半期セミナー BII	17
	(春~夏学期) 核磁気共鳴分光学半期セミナーI	18
	(春~夏学期) 核磁気共鳴分光学半期セミナー II	19
	(春~夏学期) 凝縮系物理化学半期セミナー I	20
	(春~夏学期) 凝縮系物理化学半期セミナー II	21
	(春~夏学期) 構造錯体化学半期セミナー I	22
	(春~夏学期) 構造錯体化学半期セミナー II	23
	(春~夏学期) 構造熱科学半期セミナー I	24
	(春~夏学期) 構造熱科学半期セミナー II	25
	(春~夏学期) 構造物性化学半期セミナー I	26
	(春~夏学期) 構造物性化学半期セミナー II	27
	(春~夏学期) 生体分子化学半期セミナー I	28
	(春~夏学期) 生体分子化学半期セミナー II	29
	(春~夏学期) 生体分子機能構造計測学半期セミナー I	30
	(春~夏学期) 生体分子機能構造計測学半期セミナー II	31
	(春~夏学期) 生物物理化学半期セミナー I	32
	(春~夏学期) 生物物理化学半期セミナー II	33
	(春~夏学期) 生物無機化学半期セミナーI	34
	(春~夏学期) 生物無機化学半期セミナー II	35
	(春~夏学期) 反応化学半期セミナー I	36
	(春~夏学期) 反応化学半期セミナー II	37
	(春~夏学期) 表面化学半期セミナー I	38
	(春~夏学期) 表面化学半期セミナー II	39
	(春~夏学期) 物性錯体化学半期セミナー AI	40
	(春~夏学期) 物性錯体化学半期セミナー AII	41
	(春~夏学期) 物性錯体化学半期セミナー BI	42
	(春~夏学期) 物性錯体化学半期セミナー BII	43
	(春~夏学期) 分析化学半期セミナー I	44
	(春~夏学期) 分析化学半期セミナー II	45
	(春~夏学期) 粒子ビーム化学半期セミナー I	46
	(春~夏学期) 粒子ビーム化学半期セミナー II	47
	(春~夏学期)量子化学半期セミナーⅠ	48
	(春~夏学期) 量子化学半期セミナー II	49
	(秋~冬学期) 核化学半期セミナー AI	50
	(秋~冬学期) 核化学半期セミナー AII	51

(秋~冬学期) 核化学半期セミナー BI 52
(秋~冬学期) 核化学半期セミナー BII
(秋~冬学期) 核磁気共鳴分光学半期セミナー I
(秋~冬学期) 核磁気共鳴分光学半期セミナー II 55
(秋~冬学期) 凝縮系物理化学半期セミナー I 56
(秋~冬学期) 凝縮系物理化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 構造錯体化学半期セミナー I 58
(秋~冬学期) 構造錯体化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 構造熱科学半期セミナー I
(秋~冬学期) 構造熱科学半期セミナー II
(秋~冬学期) 構造物性化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 構造物性化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 生体分子化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 生体分子化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 生体分子機能構造計測学半期セミナー I
(秋~冬学期) 生体分子機能構造計測学半期セミナー II
(秋~冬学期) 生物物理化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 生物物理化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 生物無機化学半期セミナー I 70
(秋~冬学期) 生物無機化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 反応化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 反応化学半期セミナー II
(秋~冬学期)表面化学半期セミナー I
(秋~冬学期)表面化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 物性錯体化学半期セミナー AI
(秋~冬学期) 物性錯体化学半期セミナー AII
(秋~冬学期) 物性錯体化学半期セミナー BI
(秋~冬学期) 物性錯体化学半期セミナー BII
(秋~冬学期) 分析化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 分析化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 粒子ビーム化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 粒子ビーム化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 量子化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 量子化学半期セミナー II
化学専攻 A コース後期課程 86
核化学特別セミナー AI
核化学特別セミナー AII
核化学特別セミナー AIII
核化学特別セミナー BI
核化学特別セミナー BII
核化学特別セミナー BIII
核磁気共鳴分光学特別セミナー I
核磁気共鳴分光学特別セミナー II
核磁気共鳴分光学特別セミナー III
凝縮系物理化学特別セミナー I
凝縮系物理化学特別セミナー II
凝縮系物理化学特別セミナー III 98

構造館体化学特別セミナーII 100 構造館体化学特別セミナーII 101 102 構造館体化学特別セミナーII 102 構造熱科学特別セミナーII 103 構造熱科学特別セミナーII 104 構造物性化学特別セミナーII 106 構造物性化学特別セミナーII 106 構造物性化学特別セミナーII 107 生体分子機能構造計測学特別セミナーII 107 生体分子機能構造計測学特別セミナーII 109 生体分子機能構造計測学特別セミナーII 110 生体分子機能構造計測学特別セミナーII 110 生体分子物的解析学特別セミナーII 111 生体分子助的解析学特別セミナーII 111 生体分子助的解析学特別セミナーII 111 生体分子助的解析学特別セミナーII 111 生体分子助的解析学特別セミナーII 111 生物物理化学特別セミナーII 115 生物無機化学特別セミナーII 116 生物無機化学特別セミナーII 116 生物無機化学特別セミナーII 117 生物無機化学特別セミナーII 117 生物無機化学特別セミナーII 118 生物無機化学特別セミナーII 119 反応化学特別セミナーII 122 反応化学特別セミナーII 122 友面化学特別セミナーII 122 大雪化学特別セミナーII 122 大雪化学特別セミナーII 122 大雪化学特別セミナーII 123 大野化学特別セミナーII 124 大雪化学特別セミナーII 125 大雪化学特別セミナーII 126 大雪化学特別セミナーII 127 物性錯体化学特別セミナーAII 126 物性錯体化学特別セミナーAII 127 物性錯体化学特別セミナーBII 128 物性錯体化学特別セミナーII 130 物性錯体化学特別セミナーII 131 物性结体化学特別セミナーII 132 大野化学特別セミナーII 133 大野化学特別セミナーII 134 大野中間セミナーII 135 新子ピーム化学特別セミナーII 136 大野化学特別セミナーII 137 松子ピーム化学特別セミナーII 136 大学ビーム化学特別セミナーII 137 松子ピーム化学特別セミナーII 136 大学化学特別セミナーII 137 松子ピーム化学特別セミナーII 137 松子ピーム化学特別セミナーII 138 年子化学特別セミナーII 139 星子化学特別セミナーII 140 七学等別 セミナーIII 141 化学等取 B 1-2 和 144 化学等取 B 1-2 和 144 化学等取 B 1-2 和 146 世界 147 世界取 15 141 化学等取 B 1-2 和 144 化学等别 B 1-2 和 144 化学转用 E 1-2 和 144 化学等取 B 1-4 和 144 化学等取 B 1-4 和 144 化学的 B 1-2 和 144 化学的 B	
構造館枠化学特別セミナー III 102 構造熱科学特別セミナー II 103 構造熱科学特別セミナー II 104 構造熱科学特別セミナー II 105 構造熱科学特別セミナー II 106 構造物性化学特別セミナー II 106 構造物性化学特別セミナー II 106 構造物性化学特別セミナー II 107 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 109 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 110 生体分子砂筋修析学特別セミナー II 111 生体分子動的修析学特別セミナー II 111 生体分子動的修析学特別セミナー II 111 生体分子動的修析学特別セミナー II 111 生物分理化学特別セミナー II 112 生体分子動的修析学特別セミナー II 113 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 115 生物無機化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 反応化学特別セミナー II 122 反応化学特別セミナー II 122 反応化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性館体化学特別セミナー II 126 物性館体化学特別セミナー II 127 物性館体化学特別セミナー II 126 物性館体化学特別セミナー II 127 物性館体化学特別セミナー II 128 物性館体化学特別セミナー II 129 物性館体化学特別セミナー II 130 が性管体化学特別セミナー II 131 分析化学特別セミナー II 132 分析化学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 年子ビーム化学特別セミナー II 136 年子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 138 星子化学特別セミナー II 139 星子化学特別セミナー II 136 星子化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 138 星子化学特別セミナー II 140 星子化学特別セミナー II 141 化学専攻 B コース前期課程 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 141 化学専攻 B コース前期課程 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 141 化学事攻 B コース前期課程 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 141	構造錯体化学特別セミナーI
構造熱科学特別セミナー II 103 構造熱科学特別セミナー II 104 構造熱科学特別セミナー II 105 構造物性化学特別セミナー II 106 構造物性化学特別セミナー II 107 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 109 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 109 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 110 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 110 生体分子物的解析学特別セミナー II 111 113 113 生物物理化学特別セミナー II 111 113 113 生物物理化学特別セミナー II 111 115 生体分子動的解析学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 118 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 122 友面化学特別セミナー II 123 友面化学特別セミナー II 124 友面化学特別セミナー II 125 物性錯体化学特別セミナー II 126 物性结体化学特別セミナー II 127 物性结体化学特別セミナー II 126 物性结体化学特別セミナー II 127 物性结体化学特別セミナー II 128 物性结体化学特別セミナー II 129 物性结体化学特別セミナー II 130 物性结体化学特別セミナー II 131 131 分析化学特別セミナー II 132 分析化学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 粒子ピーム化学特別セミナー II 136 粒子ピーム化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 140 量子化学特別セミナー II 140 量子化学特別セミナー III 141 世界 140 量子化学特別セミナー III 141	
構造熱科学特別セミナー II 104 構造物性化学特別セミナー II 106 構造物性化学特別セミナー II 106 構造物性化学特別セミナー III 107 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 108 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 109 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 110 生体分子物的解析学特別セミナー II 111 生体分子助的解析学特別セミナー II 111 生体分子助的解析学特別セミナー II 112 生体分子物的解析学特別セミナー II 112 生体分子物的解析学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 122 反応化学特別セミナー II 122 核動性体化学特別セミナー II 122 核体化学特別セミナー II 123 核性体化学特別セミナー II 124 核菌化学特別セミナー II 125 物性結体化学特別セミナー II 126 物性结体化学特別セミナー II 127 物性结体化学特別セミナー II 130 物性结体化学特別セミナー II 131 物性结体化学特別セミナー II 132 物性结体化学特別セミナー II 133 不足等特別セミナー II 134 大手化一 1 135 体子ピーム化学特別セミナー II 136 東子化学特別セミナー II 137 核子ピーム化学特別セミナー II 138 星子化学特別セミナー II 139 星子化学特別セミナー II 139 星子化学特別セミナー II 139 星子化学特別セミナー II 140 星子化学特別セミナー II 141 化学專攻 B コース前期課程 (春~夏学明) ゲノム化学半期セミナー II 141 化学專攻 B コース前期課程	
構造熱科学特別セミナー III 105 構造物性化学特別セミナー II 105 構造物性化学特別セミナー II 106 構造物性化学特別セミナー II 107 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 108 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 109 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 110 生体分子動的解析学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 112 生体分子動的解析学特別セミナー II 113 生物物理化学特別セミナー II 114 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性館体化学特別セミナー II 126 物性館体化学特別セミナー II 127 物性館体化学特別セミナー II 126 物性館体化学特別セミナー II 127 物性館体化学特別セミナー II 128 新化学特別セミナー II 129 物性館体化学特別セミナー II 126 物性館体化学特別セミナー II 127 物性館体化学特別セミナー II 128 有性管外別セミナー II 129 物性館体化学特別セミナー II 130 物性質体化学特別セミナー II 131 131 物性有機化学特別セミナー II 132 有术化学特別セミナー II 133 百年代学特別セミナー II 134 日本化学特別セミナー II 135 粒子ピーム化学特別セミナー II 136 粒子ピーム化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 141	構造熱科学特別セミナー I
構造物性化学特別セミナー II 105 構造物性化学特別セミナー II 106 構造物性化学特別セミナー II 107 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 109 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 110 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 110 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 112 生体分子動的解析学特別セミナー II 114 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 116 生物物理化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 反応化学特別セミナー II 121 技術化学特別セミナー II 122 反応化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性錯体化学特別セミナー II 126 物性錯体化学特別セミナー II 127 物性錯体化学特別セミナー III 128 物性錯体化学特別セミナー III 129 物性錯体化学特別セミナー III 128 物性錯体化学特別セミナー III 129 物性錯体化学特別セミナー III 128 物性结体化学特別セミナー II 130 物性角体化学特別セミナー II 131 数性有機化学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 性子 L 136 体子 L 137 体子 L 138 生子 L 139 生子 L 141 化学 I 136 性子 L 139 生子 L 139 生子 L 141	構造熱科学特別セミナー II
構造物性化学特別セミナー II 107 生体分子機能構造計劃学特別セミナー II 108 生体分子機能構造計劃学特別セミナー II 109 生体分子機能構造計劃学特別セミナー II 110 生体分子機能構造計劃学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 112 生体分子動的解析学特別セミナー II 112 生体分子動的解析学特別セミナー II 113 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 反応化学特別セミナー II 122 反応化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性錯体化学特別セミナー II 126 物性錯体化学特別セミナー II 127 物性錯体化学特別セミナー II 126 物性錯体化学特別セミナー II 127 物性錯体化学特別セミナー II 128 物性錯体化学特別セミナー II 129 物性錯体化学特別セミナー II 120 物性錯体化学特別セミナー II 121 数子ピーム化学特別セミナー II 131 物性有機化学特別セミナー II 132 分析化学特別セミナー II 133 な子ピーム化学特別セミナー II 134 な子ピーム化学特別セミナー II 135 粒子ピーム化学特別セミナー II 136 粒子ピーム化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 136 粒子ピーム化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 136 粒子ピーム化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 136 粒子ピーム化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139	構造熱科学特別セミナー III
構造物性化学特別セミナー III 108 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 109 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 110 生体分子機能構造計測学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 112 生体分子動的解析学特別セミナー II 113 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 116 生物物理化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性錯体化学特別セミナー II 126 物性錯体化学特別セミナー II 127 物性錯体化学特別セミナー II 127 物性錯体化学特別セミナー II 128 物性錯体化学特別セミナー II 129 物性錯体化学特別セミナー II 129 物性錯体化学特別セミナー II 129 物性錯体化学特別セミナー II 130 物性錯体化学特別セミナー II 131 物性有機化学特別セミナー II 132 かが化学特別セミナー II 133 かた有機化学特別セミナー II 134 かた年特別セミナー II 135 粒子ビーム化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 138	構造物性化学特別セミナー I
生体分子機能構造計測学特別セミナーⅡ 109 生体分子機能構造計測学特別セミナーⅢ 110 生体分子機能構造計測学特別セミナーⅢ 1110 生体分子動的解析学特別セミナーⅢ 1111 生体分子動的解析学特別セミナーⅢ 1112 生体分子動的解析学特別セミナーⅢ 113 生物物理化学特別セミナーⅡ 114 生物物理化学特別セミナーⅡ 115 生物物理化学特別セミナーⅡ 116 生物物理化学特別セミナーⅢ 115 生物物理化学特別セミナーⅡ 116 生物無機化学特別セミナーⅡ 117 生物無機化学特別セミナーⅡ 118 生物無機化学特別セミナーⅡ 119 反応化学特別セミナーⅡ 120 反応化学特別セミナーⅡ 121 反応化学特別セミナーⅢ 121 反応化学特別セミナーⅢ 122 表面化学特別セミナーⅢ 122 表面化学特別セミナーⅡ 123 表面化学特別セミナーⅡ 122 表面化学特別セミナーⅡ 122 表面化学特別セミナーⅡ 122 表面化学特別セミナーⅡ 125 物性錯体化学特別セミナー 11 126 物性錯体化学特別セミナー 11 127 物性錯体化学特別セミナー 11 126 物性錯体化学特別セミナー 11 127 物性錯体化学特別セミナー 11 127 物性錯体化学特別セミナー 11 128 物性錯体化学特別セミナー 11 130 物性錯体化学特別セミナー 11 131 物性錯体化学特別セミナー 11 132 が代生特別セミナー 11 131 が代子特別セミナー 11 132 な子ビーム化学特別セミナー 11 133 粒子ビーム化学特別セミナー 11 136 粒子ビーム化学特別セミナー 11 136 粒子ビーム化学特別セミナー 11 136 粒子ビーム化学特別セミナー 11 137 粒子ビーム化学特別セミナー 11 138 量子化学特別セミナー 11 141	構造物性化学特別セミナー II 106
生体分子機能構造計測学特別セミナー III 110 生体分子機的解析学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 111 生体分子動的解析学特別セミナー II 112 生体分子動的解析学特別セミナー II 113 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 友面化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性学体化学特別セミナー II 125 物性対体化学特別セミナー II 126 物性対体化学特別セミナー II 127 物性対体化学特別セミナー II 128 物性対体化学特別セミナー II 129 物性対体化学特別セミナー II 129 物性対体化学特別セミナー II 129 物性対体化学特別セミナー II 129 物性対体化学特別セミナー II 130 物性対体化学特別セミナー II 130 物性対体化学特別セミナー II 131 分析化学特別セミナー II 132 分析化学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 粒子ビーム化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 141	構造物性化学特別セミナー III
生体分子機能構造計測学特別セミナー III 111	生体分子機能構造計測学特別セミナー I
生体分子動的解析学特別セミナーII 112 生体分子動的解析学特別セミナーIII 113 生物物理化学特別セミナーII 114 生物物理化学特別セミナーII 115 生物物理化学特別セミナーII 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性錯体化学特別セミナー II 126 物性錯体化学特別セミナー II 127 物性錯体化学特別セミナー II 127 物性錯体化学特別セミナー II 128 物性錯体化学特別セミナー II 129 物性錯体化学特別セミナー II 129 物性錯体化学特別セミナー II 129 物性錯体化学特別セミナー II 130 物性錯体化学特別セミナー II 131 物性角機化学特別セミナー II 132 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 を発見 ビーム化学特別セミナー II 136 を学行列セミナー II 137 をデビーム化学特別セミナー II 136 をデビーム化学特別セミナー II 137 をデビーム化学特別セミナー II 137 をデビーム化学特別セミナー II 136 をデビーム化学特別セミナー II 137 をデビーム化学特別セミナー II 137 をデビーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 141	生体分子機能構造計測学特別セミナー II
生体分子動的解析学特別セミナー II 113 生物物理化学特別セミナー I 114 生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー II 115 生物無機化学特別セミナー II 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性学別セミナー II 125 物性学別セミナー II 126 物性学別セミナー II 127 物性維体化学特別セミナー AII 126 物性維体化学特別セミナー AII 127 物性維体化学特別セミナー AII 128 物性維体化学特別セミナー BII 129 物性維体化学特別セミナー BII 129 物性維体化学特別セミナー BII 130 物性維体化学特別セミナー BII 131 物性角機化学特別セミナー II 131 が性手機化学特別セミナー II 132 分析化学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 粒子ビーム化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 140 量子化学特別セミナー II 141	生体分子機能構造計測学特別セミナー III
生体分子動的解析学特別セミナー II	生体分子動的解析学特別セミナー I
生物物理化学特別セミナー II 115 生物物理化学特別セミナー III 116 生物無機化学特別セミナー II 117 生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー II 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性緒体化学特別セミナー II 126 物性緒体化学特別セミナー II 127 物性緒体化学特別セミナー II 127 物性緒体化学特別セミナー AII 126 物性緒体化学特別セミナー BII 129 物性緒体化学特別セミナー BII 129 物性緒体化学特別セミナー BII 130 物性緒体化学特別セミナー II 131 物性精体化学特別セミナー II 132 が性特体化学特別セミナー II 133 か性代等特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 粒子ピーム化学特別セミナー II 136 粒子ピーム化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 136 粒子ピーム化学特別セミナー II 137 粒子ピーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 140 量子化学特別セミナー II 141	生体分子動的解析学特別セミナー II
生物物理化学特別セミナーIII 116 生物無機化学特別セミナーII 117 生物無機化学特別セミナーII 118 生物無機化学特別セミナーII 119 反応化学特別セミナーII 120 反応化学特別セミナーII 121 反応化学特別セミナーII 122 表面化学特別セミナーII 122 表面化学特別セミナーII 123 表面化学特別セミナーII 124 表面化学特別セミナーII 125 物性錯体化学特別セミナーAII 126 物性錯体化学特別セミナーAII 127 物性錯体化学特別セミナーAII 127 物性錯体化学特別セミナーBII 129 物性结体化学特別セミナーBII 130 物性结体化学特別セミナーBII 130 物性结体化学特別セミナーII 133 分析化学特別セミナーII 133 分析化学特別セミナーII 133 分析化学特別セミナーII 134 分析化学特別セミナーII 135 粒子ビーム化学特別セミナーII 135 粒子ビーム化学特別セミナーII 136 粒子ピーム化学特別セミナーII 137 粒子ピーム化学特別セミナーII 137 粒子ピーム化学特別セミナーII 138 量子化学特別セミナーII 139 量子化学特別セミナーII 139 量子化学特別セミナーII 130 量子化学特別セミナーII 130 粒子ピーム化学特別セミナーII 137 粒子ピーム化学特別セミナーII 138 量子化学特別セミナーII 139 量子化学特別セミナーII 140 量子化学特別セミナーII 141	生体分子動的解析学特別セミナー III
生物物理化学特別セミナーIII 116 生物無機化学特別セミナーII 117 生物無機化学特別セミナーII 118 生物無機化学特別セミナーII 119 反応化学特別セミナーII 120 反応化学特別セミナーII 121 反応化学特別セミナーII 122 表面化学特別セミナーII 123 表面化学特別セミナーII 124 表面化学特別セミナーII 125 物性錯体化学特別セミナーAII 126 物性錯体化学特別セミナーAII 127 物性錯体化学特別セミナーAIII 127 物性錯体化学特別セミナーBII 129 物性錯体化学特別セミナーBII 130 物性錯体化学特別セミナーBII 130 物性錯体化学特別セミナーII 131 が性存機化学特別セミナーII 131 が性存機化学特別セミナーII 132 分析化学特別セミナーII 133 分析化学特別セミナーII 134 分析化学特別セミナーII 135 粒子ビーム化学特別セミナーII 136 粒子ビーム化学特別セミナーII 137 粒子ビーム化学特別セミナーII 138 量子化学特別セミナーII 139 量子化学特別セミナーII 139 量子化学特別セミナーII 140 量子化学特別セミナーII 141	生物物理化学特別セミナー I
生物無機化学特別セミナー II 118 生物無機化学特別セミナー III 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー II 121 反応化学特別セミナー II 122 表面化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー II 124 表面化学特別セミナー II 125 物性錯体化学特別セミナー AI 126 物性錯体化学特別セミナー AI 127 物性錯体化学特別セミナー AII 127 物性錯体化学特別セミナー BI 129 物性錯体化学特別セミナー BI 129 物性錯体化学特別セミナー BI 131 物性角機化学特別セミナー II 131 か性角機化学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 を性力 A 1 136 を関する A 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	生物物理化学特別セミナー II
生物無機化学特別セミナー II 119	生物物理化学特別セミナー III
生物無機化学特別セミナー III 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー III 121 反応化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー III 124 表面化学特別セミナー AII 125 物性錯体化学特別セミナー AII 127 物性錯体化学特別セミナー AIII 127 物性錯体化学特別セミナー BII 129 物性錯体化学特別セミナー BIII 130 物性结体化学特別セミナー I 131 物性代学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー III 134 分析化学特別セミナー III 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー III 140 量子化学特別セミナー III 141 化学専攻 B コース前期課程 142 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 143 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 144	生物無機化学特別セミナー I
生物無機化学特別セミナー III 119 反応化学特別セミナー II 120 反応化学特別セミナー III 121 反応化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー III 124 表面化学特別セミナー AII 125 物性錯体化学特別セミナー AII 127 物性錯体化学特別セミナー AIII 127 物性錯体化学特別セミナー BII 129 物性錯体化学特別セミナー BIII 130 物性结体化学特別セミナー I 131 物性代学特別セミナー II 133 分析化学特別セミナー III 134 分析化学特別セミナー III 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー III 140 量子化学特別セミナー III 141 化学専攻 B コース前期課程 142 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 143 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 144	生物無機化学特別セミナー II
反応化学特別セミナー II120反応化学特別セミナー III121反応化学特別セミナー III122表面化学特別セミナー II123表面化学特別セミナー III125物性錯体化学特別セミナー AII126物性錯体化学特別セミナー AIII127物性錯体化学特別セミナー BII128物性錯体化学特別セミナー BII130物性錯体化学特別セミナー BIII131物性骨機化学特別セミナー II132分析化学特別セミナー II133分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー III136粒子ビーム化学特別セミナー III136粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー III139量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III141化学專攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143	
反応化学特別セミナー II121反応化学特別セミナー III122表面化学特別セミナー II123表面化学特別セミナー III124表面化学特別セミナー III125物性錯体化学特別セミナー AII126物性錯体化学特別セミナー AIII127物性錯体化学特別セミナー BII129物性錯体化学特別セミナー BII130物性錯体化学特別セミナー BIII131物性骨機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー II133分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II139量子化学特別セミナー II140量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
反応化学特別セミナー III122表面化学特別セミナー II124表面化学特別セミナー III125物性錯体化学特別セミナー AII126物性錯体化学特別セミナー AIII127物性錯体化学特別セミナー AIII128物性錯体化学特別セミナー BII129物性錯体化学特別セミナー BIII130物性錯体化学特別セミナー BIII131物性者機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー I133分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー III136粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II139量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
表面化学特別セミナー II 123 表面化学特別セミナー III 125 物性錯体化学特別セミナー AII 126 物性錯体化学特別セミナー AIII 127 物性錯体化学特別セミナー AIII 128 物性錯体化学特別セミナー BII 129 物性錯体化学特別セミナー BII 130 物性錯体化学特別セミナー BIII 131 物性錯体化学特別セミナー I 131 物性錯体化学特別セミナー I 132 分析化学特別セミナー I 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 粒子ビーム化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 138 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 140 量子化学特別セミナー II 141 化学専攻 B コース前期課程 142 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 143 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 143	
表面化学特別セミナー III 125 表面化学特別セミナー AII 126 物性錯体化学特別セミナー AII 127 物性錯体化学特別セミナー AIII 127 物性錯体化学特別セミナー BII 128 物性錯体化学特別セミナー BII 129 物性錯体化学特別セミナー BIII 130 物性錯体化学特別セミナー II 131 物性有機化学特別セミナー I 132 分析化学特別セミナー I 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 粒子ビーム化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー III 137 粒子ビーム化学特別セミナー III 138 量子化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 140 量子化学特別セミナー II 141 化学専攻 B コース前期課程 142 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I 143 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 144	
表面化学特別セミナー III 125 物性錯体化学特別セミナー AI 126 物性錯体化学特別セミナー AII 127 物性錯体化学特別セミナー AIII 128 物性錯体化学特別セミナー BI 129 物性錯体化学特別セミナー BII 130 物性錯体化学特別セミナー BIII 131 物性有機化学特別セミナー I 132 分析化学特別セミナー I 132 分析化学特別セミナー I 133 分析化学特別セミナー II 134 分析化学特別セミナー II 135 粒子ビーム化学特別セミナー II 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー II 139 量子化学特別セミナー II 140 量子化学特別セミナー II 141 化学専攻 B コース前期課程 142 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I 143 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 144	
物性錯体化学特別セミナー AII126物性錯体化学特別セミナー AIII127物性錯体化学特別セミナー AIII128物性錯体化学特別セミナー BI129物性錯体化学特別セミナー BIII130物性结体化学特別セミナー BIII131物性有機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー II133分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー II137粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II139量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143	
物性錯体化学特別セミナー AIII127物性錯体化学特別セミナー BI129物性錯体化学特別セミナー BII130物性錯体化学特別セミナー BIII131物性有機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー I133分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー II137粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II138量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143	
物性錯体化学特別セミナー AIII128物性錯体化学特別セミナー BII130物性錯体化学特別セミナー BIII131物性有機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー I133分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー II137粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143	
物性錯体化学特別セミナー BII129物性錯体化学特別セミナー BIII130物性錯体化学特別セミナー BIII131物性有機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー II133分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II140量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
物性錯体化学特別セミナー BIII130物性錯体化学特別セミナー BIII131物性有機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー II133分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー II137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II139量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
物性錯体化学特別セミナー BIII131物性有機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー II133分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー I139量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー IIII141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
物性有機化学特別セミナー I132分析化学特別セミナー II133分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー I136粒子ビーム化学特別セミナー II137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー I139量子化学特別セミナー III140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
分析化学特別セミナー II133分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー II136粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー III144	
分析化学特別セミナー III134分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー I136粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー II140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー III144	
分析化学特別セミナー III135粒子ビーム化学特別セミナー I136粒子ビーム化学特別セミナー III137粒子ビーム化学特別セミナー III138量子化学特別セミナー I139量子化学特別セミナー II140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
粒子ビーム化学特別セミナー I 136 粒子ビーム化学特別セミナー II 137 粒子ビーム化学特別セミナー III 138 量子化学特別セミナー I 139 量子化学特別セミナー II 140 量子化学特別セミナー III 141 化学専攻 B コース前期課程 142 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I 143 (春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 144	
粒子ビーム化学特別セミナー II	
粒子ビーム化学特別セミナー III	
量子化学特別セミナー I139量子化学特別セミナー II140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
量子化学特別セミナー II140量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
量子化学特別セミナー III141化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I143(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II144	
化学専攻 B コース前期課程142(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I	
(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I	量子化学特別セミナー III
(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I	化学車攻 B コース前期課程 149
(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II 144	
(春~夏子期) / ロイオミクス分析化学主期セミナー 1/15	(春~夏学期) プロテオミクス分析化学半期セミナー I

(春~夏学期) プロテオミクス分析化学半期セミナー II
(春~夏学期) 機能性分子化学半期セミナー I
(春~夏学期) 機能性分子化学半期セミナー II
(春~夏学期) 構造有機化学半期セミナー I
(春~夏学期) 構造有機化学半期セミナー II
(春~夏学期) 生体分子動的解析学半期セミナー I
(春~夏学期) 生体分子動的解析学半期セミナー II
(春~夏学期) 蛋白質分子化学半期セミナー I 153
(春~夏学期) 蛋白質分子化学半期セミナー II
(春~夏学期) 天然物有機化学半期セミナー I 155
(春~夏学期) 天然物有機化学半期セミナー II
(春~夏学期) 物性有機化学半期セミナー I 157
(春~夏学期) 物性有機化学半期セミナー II
(春~夏学期) 有機生物化学半期セミナー I
(春~夏学期) 有機生物化学半期セミナー II
(秋~冬学期) ゲノム化学半期セミナー I
(秋~冬学期) ゲノム化学半期セミナー II
(秋~冬学期) プロテオミクス分析化学半期セミナー I
(秋~冬学期) プロテオミクス分析化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 機能性分子化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 機能性分子化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 構造有機化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 構造有機化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 生体分子動的解析学半期セミナー I
(秋~冬学期) 生体分子動的解析学半期セミナー II
(秋~冬子朔) 宝白質分子化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 蛋白質分子化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 天然物有機化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 天然物有機化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 物性有機化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 物性有機化学半期セミナー II
(秋~冬学期) 有機生物化学半期セミナー I
(秋~冬学期) 有機生物化学半期セミナー II
化学専攻 B コース後期課程 179
ゲノム化学特別セミナ-I
ゲノム化学特別セミナ-II
ゲノム化学特別セミナーIII
プロテオミクス分析化学特別セミナー II
プロテオミクス分析化学特別セミナー III
機能性分子化学特別セミナー I
機能性分子化学特別セミナー II
機能性分子化学特別セミナー III
構造有機化学特別セミナー I
構造有機化学特別セミナー II
構造有機化学特別セミナー III
生休分子ル学特別セミナー I 109

	生体分子化学特別セミナー II	193
	生体分子化学特別セミナー III	194
	蛋白質分子化学特別セミナーⅠ	195
	蛋白質分子化学特別セミナー II	196
	蛋白質分子化学特別セミナー III	197
	天然物有機化学特別セミナー I	198
	天然物有機化学特別セミナー II	199
	天然物有機化学特別セミナー III	200
	物性有機化学特別セミナー II	201
	物性有機化学特別セミナー III	202
	有機生物化学特別セミナー I	203
	有機生物化学特別セミナー II	205
	有機生物化学特別セミナー III	207
7	化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 前期課程 (秋入学者用)	209
	インタラクティブセミナー I(化学専攻)	210
	インタラクティブセミナー I(化学専攻)	
	化学アドバンスト実験	
	化学アドバンスト実験インタラクティブセミナー I(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用)	211
	化学アドバンスト実験インタラクティブセミナー I(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用)インタラクティブセミナー II(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用)	211 213 214
	化学アドバンスト実験インタラクティブセミナー I(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用)インタラクティブセミナー II(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用)化学アドバンスト実験 (秋入学者用)	211213214215
8	化学アドバンスト実験インタラクティブセミナー I(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用)インタラクティブセミナー II(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用)化学アドバンスト実験 (秋入学者用)化学専攻 A コース後期課程 (秋入学者用)	211 213 214 215 217
8	化学アドバンスト実験	211 213 214 215 217 218
8	化学アドバンスト実験	211 213 214 215 217 218 219
8	 化学アドバンスト実験 インタラクティブセミナー I(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用) インタラクティブセミナー II(化学専攻)(博士前期課程秋入学者用) 化学アドバンスト実験(秋入学者用) 化学専攻 A コース後期課程 (秋入学者用) 核化学特別セミナー AIII(秋入学者用) 生体分子機能構造計測学特別セミナー II(秋入学者用) 生体分子機能構造計測学特別セミナー III(秋入学者用) 	211 213 214 215 217 218 219 220
8	化学アドバンスト実験	211 213 214 215 217 218 219 220
8	化学アドバンスト実験	211 213 214 215 217 218 219 220

- 1. 化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 前期課程
- 1 化学専攻 A・Bコース共通 BMC 科目 前期課程

インタラクティブセミナーII(化学専攻)

英語表記	Interactive Seminar II
授業コード	241183
No.	24CHEM6G014
単位数	1
担当教員	化学専攻教務委員 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	近年の科学は、非常に細かい専門分野に細分化され、各分野とも高度化・専門化し、その専
	門知識を修得するのは容易ではない。そのため、ともすれば細分化された非常に狭い専門分
	野のみの学習・研究のみに汲々とし、専門分野以外の基本的知識の欠如さらには無関心とい
	う問題を引き起こしている。そこで、本セミナーでは、他の研究室が主催するセミナーに参
	加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上で、自身の修士論文の研究に対して、
	異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を受ける。
学習目標	化学に対する広い視野を身につける
履修条件 ————————————————————————————————————	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	他の研究室が主催するセミナーに参加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上
	で、自身の修士論文の研究に対して、異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を
	受ける。
	【授業計画】
	他の研究室が主催するセミナーに参加する。
授業外にお	関連する文献を読む
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、レポート、テストなどにより総合的に評価
コメント	

- 2. 化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 後期課程
- 2 化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 後期課程

インタラクティブ特別セミナー1(化学専攻)

英語表記	Interactive Seminar for Advanced Research 1
授業コード	241431
No.	24CHEM7G000
単位数	1
担当教員	化学専攻教務委員 居室:
	村田 道雄 居室:
質問受付	随時
履修対象	博士後期課程 1,2,3 年 必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	近年の科学は、非常に細かい専門分野に細分化され、各分野とも高度化・専門化し、その専
	門知識を修得するのは容易ではない。そのため、ともすれば細分化された非常に狭い専門分
	野のみの学習・研究のみに汲々とし、専門分野以外の基本的知識の欠如さらには無関心とい
	う問題を引き起こしている。そこで、本セミナーでは、他の研究室が主催するセミナーに参
	加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上で、自身の博士論文の研究に対して、
	異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を受ける。
学習目標	他研究室の教員と討論することで、自身の研究内容のレベル向上をはかる
履修条件	指導教官と相談のうえ履修する
特記事項	特になし
授業計画	【講義内容】
	他の研究室が主催するセミナーに参加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上
	で、自身の博士論文の研究に対して、異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を
	受ける。
	【授業計画】
	他の研究室が主催するセミナーに参加する。
授業外にお	関連する国際誌を理解し、自身の研究に活用する
ける学習	
教科書	指導教官と相談する
参考文献	指導教官と相談する
成績評価	出席、レポート、テストなどにより総合的に評価
コメント	博士学位取得予定年度の前年度に、本科目の単位を取得すること。

インタラクティブ特別セミナー2(化学専攻)

英語表記	Interactive Seminar for Advanced Research 2
授業コード	241432
No.	24CHEM7G000
単位数	1 N. + J. M. 24. 7. B D D D D D D D.
担当教員	化学専攻教務委員 居室:
	村田 道雄 居室:
質問受付	随時
履修対象 —————	博士後期課程 1,2,3 年 必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	近年の科学は、非常に細かい専門分野に細分化され、各分野とも高度化・専門化し、その専
	門知識を修得するのは容易ではない。そのため、ともすれば細分化された非常に狭い専門分
	野のみの学習・研究のみに汲々とし、専門分野以外の基本的知識の欠如さらには無関心とい
	う問題を引き起こしている。そこで、本セミナーでは、他の研究室が主催するセミナーに参
	加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上で、自身の博士論文の研究に対して、
	異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を受ける。
学習目標	他研究室の教員と討論することで、自身の研究内容のレベル向上をはかる
履修条件	指導教官と相談のうえ履修する
特記事項	特になし
授業計画	【講義内容】
	他の研究室が主催するセミナーに参加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上
	で、自身の博士論文の研究に対して、異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を
	受ける。
	【授業計画】
	他の研究室が主催するセミナーに参加する。
 授業外にお	関連する国際誌を理解し、自身の研究に活用する
ける学習	
教科書	指導教官と相談する
	指導教官と相談する
成績評価	出席、レポート、テストなどにより総合的に評価
コメント	博士学位取得予定年度の前年度に、本科目の単位を取得すること。

3 化学専攻 A コース前期課程

(春~夏学期)核化学半期セミナーAI

英語表記	Semestral Seminar in Nuclear Chemistry AI
授業コード	241064
No.	24CHEM6G012
単位数	4
担当教員	篠原 厚 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(春~夏学期)核化学半期セミナーAII

英語表記	Semestral Seminar in Nuclear Chemistry AII
授業コード	241066
No.	24CHEM6G012
単位数	4
担当教員	篠原 厚 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(春~夏学期) 核化学半期セミナーBI

英語表記	Semestral Seminar in Nuclear Chemistry BI
授業コード	241065
No.	24CHEM6G012
単位数	4
担当教員	吉村 崇 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	原子核に関連した化学の先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究の進
	め方や考え方などについて指導を行う。修士論文作成についての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(春~夏学期)核化学半期セミナーBII

英語表記	Semestral Seminar in Nuclear Chemistry BII
授業コード	241067
No.	24CHEM6G012
単位数	4
担当教員	吉村 崇 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	原子核に関連した化学の先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究の進
	め方や考え方などについて指導を行う。修士論文作成についての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(春~夏学期)核磁気共鳴分光学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Magnetic Resonance Spectroscopy I
授業コード	241070
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	上田 貴洋 居室: 全学教育実験棟 (サイエンスコモンズ)215 号室
	電話: 5778
	Email: ueda@museum.osaka-u.ac.jp
	豊田 二郎 居室:
	宮久保 圭祐 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、とくに核磁気共鳴や分子のダイナミクスに関連した先端的な研究分野について基
	礎的な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験
	についての指導と助言を行う。
学習目標	核磁気共鳴や分子のダイナミクスの基礎を理解し、研究が行えるようにする。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	自身の研究テーマに関連する研究論文の調査や、研究分野の基礎となる科目の予習・復習を
ける学習	実施すること。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、理解度、成果および各種発表により総合的に評価する。
コメント	

(春~夏学期)核磁気共鳴分光学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Magnetic Resonance Spectroscopy II
授業コード	241071
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	上田 貴洋 居室: 全学教育実験棟 (サイエンスコモンズ)215 号室
	電話: 5778
	Email: ueda@museum.osaka-u.ac.jp
	豊田 二郎 居室:
	宮久保 圭祐 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、とくに核磁気共鳴や分子のダイナミクスに関連した先端的な研究分野について基
	礎的な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験
	についての指導と助言を行う。
学習目標	核磁気共鳴や分子のダイナミクスの基礎を理解し、研究が行えるようにする。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	自身の研究テーマに関連する研究論文の調査や、研究分野の基礎となる科目の予習・復習を
ける学習	実施すること。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、理解度、成果および各種発表により総合的に評価する。
コメント	

(春~夏学期) 凝縮系物理化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Physical Chemistry of Condensed Matter I
授業コード	241076
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	中澤 康浩 居室 :
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	主体的な研究活動ができるようになる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	論文、関連研究の調査し様々な側面から考察をする
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、日々の活動、研究成果等を総合的に評価
コメント	

(春~夏学期) 凝縮系物理化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Physical Chemistry of Condensed Matter II
授業コード	241077
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	中澤 康浩 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	主体的な研究活動ができるようになる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	論文、関連研究の調査し様々な側面から考察をする
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、日々の活動、研究成果などを総合的に評価
7 / 5/1	

(春~夏学期) 構造錯体化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Structural Coordination Chemistry I
授業コード	241062
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	今野 巧 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	錯体化学の研究の基礎知識と技術を習得し、錯体化学の研究を行えるようにする
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果によって評価する。
コメント	

(春~夏学期) 構造錯体化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Structural Coordination Chemistry II
授業コード	241063
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	今野 巧 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	錯体化学の研究の専門知識と技術を習得し、錯体化学の研究を実行する
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果によって評価する。
コメント	

(春~夏学期) 構造熱科学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Structural Thermodynamics I
授業コード	241252
No.	24CHEM6G002
単位数	4
担当教員	中野 元裕 居室:
	長野 八久 居室:
	宮崎 裕司 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(春~夏学期) 構造熱科学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Structural Thermodynamics II
授業コード	241253
No.	24CHEM6G002
単位数	4
担当教員	中野 元裕 居室:
	長野 八久 居室:
	宮崎 裕司 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(春~夏学期) 構造物性化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Solid State Chemistry I
授業コード	241082
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	谷口 正輝 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	研究課題の学術的・社会的な位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行する。さらに、
	研究成果を論文や発表でまとめ・公表し、対話をしながら研究を発展させていく能力を身に
	つける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究課題と関連分野の研究論文を読むとともに、異なる研究分野の文献を読み、知識の幅を
ける学習	広げる。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究、発表、および論文の内容により総合評価する。
7.7.2.1	

(春~夏学期) 構造物性化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Solid State Chemistry II
授業コード	241083
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	谷口 正輝 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	研究課題の学術的・社会的な位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行する。さらに、
	研究成果を論文や発表でまとめ・公表し、対話をしながら研究を発展させていく能力を身に
	つける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究課題と関連分野の研究論文を読むとともに、異なる研究分野の文献を読み、知識の幅を
ける学習	広げる。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究、発表、および論文の内容により総合評価する。
コメント	

(春~夏学期)生体分子化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Molecular Biochemistry I
授業コード	241096
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	村田 道雄 居室:
	花島 慎弥 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	有機化学および生物化学、生物物理学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた
	上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文
	作成についての指導と助言を行う。
	有機化学および生物化学、生物物理学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深め
	る 。
履修条件	特になし。
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日頃の文献調査や総説の学習などを通じて、背景情報を充分に収集すること。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーやミーティングの出席と実験報告・文献紹介の評価で総合的に行う。原則的にすべ
	てのセミナーへに出席すること。
7./ 21	

(春~夏学期)生体分子化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Molecular Biochemistry II
授業コード	241097
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	村田 道雄 居室:
	花島 慎弥 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	有機化学および生物化学、生物物理学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた
	上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文
	作成についての指導と助言を行う。
学習目標	有機化学および生物化学、生物物理学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深め
	る。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日頃より、文献を精読するなどして、研究の背景に関する情報を収集しておくこと。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーやミーティングの出席と実験報告・文献紹介の評価で総合的に行う。原則的にすべ
	てのセミナーに出席すること。
コメント	

(春~夏学期)生体分子機能構造計測学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Structural Molecular Biology I
授業コード	241263
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、 維持
	されている。 本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するため
	に、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学
	ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。
	関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成
	果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、
	研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな
	研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
学習目標	当該分野の基礎学習に基づいて, 研究論文を口頭発表できるようになること
履修条件	物理化学, 構造生物学についての基礎知識を有すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	వ 。
	核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体
	NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エ
	ネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基
	礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解
	析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	
教科書	適宜指示する。
参考文献	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	వ 。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでな
	い、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレート
	することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者
	の発表に対しても積極的に発言し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を
	培ってほしい。

(春~夏学期)生体分子機能構造計測学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Structural Molecular Biology II
授業コード	241264
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、 維持
	されている。 本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するため
	に、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学
	ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。
	関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成
	果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、
	研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな
	研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
学習目標	当該分野の基礎学習に基づいて, 研究論文を口頭発表できるようになること
履修条件	物理化学, 構造生物学についての基礎知識を有すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。
	核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体
	NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エ
	ネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基
	礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解
	析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	
教科書	適宜指示する。
参考文献	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	る。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでな
	い、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレート
	することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者
	の発表に対しても積極的に発言し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を
	培ってほしい。

(春~夏学期)生物物理化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Biophysical Chemistry I
授業コード	241074
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	水谷 泰久 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	生物物理化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な研究の進め
	方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成についての指導と助
	言を行う。
学習目標	生物物理化学化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	生物物理化学に関する先端的研究課題の指導を行う。先端的分光法を用いたタンパク質の機
	能発現機構解明について基礎から最新の研究を学ぶ。また、学会発表や論文作成など研究成
	果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	関連分野に関する文献を読み、生物物理化学に対する理解を深める。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。

(春~夏学期)生物物理化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Biophysical Chemistry II
授業コード	241075
No.	24CHEM6G200
 単位数	4
担当教員	
33//	4.1 40. /A. I.
 質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	生物物理化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な研究の進め
	方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成についての指導と助
	言を行う。
学習目標	生物物理化学化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	生物物理化学に関する先端的研究課題の指導を行う。先端的分光法を用いたタンパク質の機
	能発現機構解明について基礎から最新の研究を学ぶ。また、学会発表や論文作成など研究成
	果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	関連分野に関する文献を読み、生物物理化学に対する理解を深める。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。

(春~夏学期)生物無機化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Bioinorganic Chemistry I
授業コード	241054
No.	24CHEM6G214
単位数	4
担当教員	舩橋 靖博 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	先端的な研究分野についての理解に基づき、生物無機化学に関連したより発展的な研究を遂
	行する。
学習目標	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。
特記事項	
授業計画	生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。
	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業外にお	学術論文を読んだり、新たな研究の提案や研究の進捗状況の報告を準備する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	学術的な背景の説明と研究提案、ならびにその成果発表が評価されます。
コメント	

(春~夏学期)生物無機化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Bioinorganic ChemistryII
授業コード	241055
No.	24CHEM6G214
単位数	4
担当教員	舩橋 靖博 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	先端的な研究分野についての理解に基づき、生物無機化学に関連したより発展的な研究を遂
	ten 1 ia
	行する。
学習目標	行する。 学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。
学習目標 履修条件	
履修条件	
履修条件 特記事項	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。
履修条件 特記事項	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。 生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。
履修条件 特記事項 授業計画	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。 生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。 http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
履修条件 特記事項 授業計画 授業外にお	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。 生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。 http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
履修条件 特記事項 授業計画 授業外にお ける学習	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。 生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。 http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
履修条件 特記事項 授業計画 授業外にお ける学習 教科書	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。 生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。 http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/

(春~夏学期) 反応化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Chemical Reaction Dynamics I
授業コード	241072
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	松本 卓也 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	自ら課題について、学術上の位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行し、外部に対す
	る発表ができる。
	論文執筆ができる。
履修条件	学生便覧参照
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究室のマシンタイム、学会発表の締め切りなどを勘案し、時間に制約を設けず、目標を達
ける学習	成する。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、プロセス、成果を総合的に評価する。
コメント	

(春~夏学期) 反応化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Chemical Reaction Dynamics II
授業コード	241073
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	松本 卓也 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	自ら課題について、学術上の位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行し、外部に対す
	る発表ができる。
	論文執筆ができる。
履修条件	学生便覧参照
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究室のマシンタイム、学会発表の締め切りなどを勘案し、時間に制約を設けず、目標を達
ける学習	成する。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、プロセス、成果を総合的に評価する。
コメント	

(春~夏学期)表面化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Surface Chemistry I
授業コード	241078
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	固体表面の物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な理解を深め、具体的な研究
	の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を行う。
学習目標	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	隔週ごとに実験報告と論文紹介を交代で行う。
	外国人が出席するときにはレジメは英語とする。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーの出席、参加態度および発表で評価する。
7.75.1	

(春~夏学期)表面化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Surface Chemistry II
授業コード	241079
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	固体表面の物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な理解を深め、具体的な研究
	の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	隔週ごとに実験紹介と論文紹介を交代で行う。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーの出席、参加態度および発表で評価する。
コメント	

(春~夏学期) 物性錯体化学半期セミナーAI

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry AI
授業コード	241058
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	石川 直人 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
<u> </u>	
参考文献	

(春~夏学期)物性錯体化学半期セミナーAII

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry AII
授業コード	241060
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	石川 直人 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(春~夏学期) 物性錯体化学半期セミナーBI

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry BI
授業コード	241059
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	山口 和也 居室:
質問受付	随時
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。論文・実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深める。具体的な研究の進め方や考え方などを修得する。指導と助言により研究を
	完成する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学習目標達成のために、各自主体的に取り組むこと。
ける学習	
教科書	最新刊の雑誌
参考文献	Chemistry of the Elements, Greenwood Earnshaw, Second Ed., 1997, Butterworth Heine-
	mann.
	Advabced Inorganic Chemistry, F. Albert Cotton, G. Wilkinson, C.A. Murrillo, and M.
	Bochmann, Sixth Ed. 1999, John Wiley & Sons, Inc.
成績評価	論文発表、プレゼンテーション、質問、理解度等を含めて総合的に行う。
— ./ S . I	

(春~夏学期)物性錯体化学半期セミナーBII

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry BII
授業コード	241061
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	山口 和也 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。論文・実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深める。具体的な研究の進め方や考え方などを修得する。指導と助言により研究を
	完成する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学習目標達成のために、各自主体的に取り組むこと。
ける学習	
教科書	最新刊の雑誌
参考文献	Chemistry of the Elements, Greenwood Earnshaw, Second Ed., 1997, Butterworth Heine-
	mann.
	Advabced Inorganic Chemistry, F. Albert Cotton, G. Wilkinson, C.A. Murrillo, and M.
	Bochmann, Sixth Ed. 1999, John Wiley & Sons, Inc.
成績評価	論文発表、プレゼンテーション、質問、理解度等を含めて総合的に行う。
コメント	

(春~夏学期)分析化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry I
授業コード	241056
No.	24CHEM6G206
単位数	4
担当教員	塚原 聡 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学に関連した先端的な研究について理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方につ
	いて指導を行う。
学習目標	与えられた研究課題に対して、具体的な実験方法を考案して構築し、データを得ることがで
	きる。得たデータを解析し、議論することができる。さらに自分で考え、新しい課題の設定
	をすることができる。
	最新の分析化学に関する論文を読み、それを研究室の構成員に対して判りやすく紹介できる。
	紹介後の質問にも適切に答えられる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【内容】
	主に, 界面分析法の開発, 電場・磁場を利用する微粒子分離法, キラル光学分析法の開発 につ
	いて研究する。
授業外にお	予め論文を読み、その背景や実験方法、解析法について調べる。
ける学習	
	紹介後は、そのときの質問事項について充分答えられたかを自己チェックし、不充分であっ
	た場合は,後日回答を追加する。
教科書	随時指定する
参考文献	随時指定する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢,成果,各種発表により総合的に評価する
コメント	

コクノト

(春~夏学期) 分析化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry II
授業コード	241057
No.	24CHEM6G206
単位数	4
担当教員	塚原 聡 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学の先端的研究を行い、研究の実施方法について指導を行う。修士論文実験について
	の指導と助言を行う。英語論文の作成法を指導する。
学習目標	与えられた研究課題に対して、具体的な実験方法を考案して構築し、データを得ることがで
	きる。得たデータを解析し、議論することができる。さらに自分で考え、新しい課題の設定
	をすることができる。
	最新の分析化学に関する論文を読み、それを研究室の構成員に対して判りやすく紹介できる。
	紹介後の質問にも適切に答えられる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	主に、界面分析法の開発、電場・磁場を利用する微粒子分離法、キラル光学分析法の開発 につ
	いて研究する。
授業外にお	予め論文を読み,その背景や実験方法,解析法について調べる。
ける学習	
	紹介後は、そのときの質問事項について充分答えられたかを自己チェックし、不充分であっ
	た場合は,後日回答を追加する。
教科書	随時指定する
参考文献	随時指定する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢,成果,各種発表により総合的に評価する。
コメント	

(春~夏学期)粒子ビーム化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Beam Chemistry I
授業コード	241261
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	岡田 美智雄 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、特に表面化学反応に関連した先端的な分野についての基礎的な理解を深め、具体
	的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を
	行う。
学習目標	物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力
	を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定する。最先端の研究教育機器の開発を通じて、ものづく
	りに根ざした物理化学研究を展開する。特に独自の先端機器を開発しながら、原子や分子に
	より構成される粒子ビームが固体表面で引き起こす化学反応素過程について研究し、その制
	御を目指す。一方で、粒子ビームを利用したオリジナルの表面分析機器の開発にも取り組
	み、幅広い意味での表面科学の諸問題の解決を目指す。
授業外にお	研究課題に関連する論文や専門書を読み、理解する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する
コメント	

(春~夏学期) 粒子ビーム化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Beam Chemistry II
授業コード	241262
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	岡田 美智雄 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、特に表面化学反応に関連した先端的な分野についての基礎的な理解を深め、具体
	的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を
	行う。
学習目標	物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力
	を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定する。最先端の研究教育機器の開発を通じて、ものづく
	りに根ざした物理化学研究を展開する。特に独自の先端機器を開発しながら、原子や分子に
	より構成される粒子ビームが固体表面で引き起こす化学反応素過程について研究し、その制
	御を目指す。一方で、粒子ビームを利用したオリジナルの表面分析機器の開発にも取り組
	み、幅広い意味での表面科学の諸問題の解決を目指す。
授業外にお	研究課題に関連する論文や専門書を読み、理解する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組む姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。

(春~夏学期)量子化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Quantum Chemistry I
授業コード	241068
No.	24CHEM6G007
単位数	4
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
	量子化学を使った研究を行う基礎を理解し、研究を行えるようにする
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	参考論文などを読む。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	負担の取り組む姿勢 (50%) と成果 (50%) を総合的に評価する。

(春~夏学期)量子化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Quantum Chemistry II
授業コード	241069
No.	24CHEM6G007
単位数	4
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	量子化学の研究の基礎を身につけ、研究を実行する
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	参考論文などを読む
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	負担の取り組む姿勢 (50%) と成果 (50%) を総合的に評価する。
7.7.2.1	

(秋~冬学期)核化学半期セミナーAI

英語表記	Semestral Seminar in Nuclear Chemistry AI
授業コード	249455
No.	24CHEM6G012
単位数	4
担当教員	篠原 厚 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(秋~冬学期)核化学半期セミナーAII

英語表記	Semestral Seminar in Nuclear Chemistry AII
授業コード	249457
No.	24CHEM6G012
単位数	4
担当教員	篠原 厚 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(秋~冬学期) 核化学半期セミナーBI

英語表記	Semestral Seminar in Nuclear Chemistry BI
授業コード	249456
No.	24CHEM6G012
単位数	4
担当教員	吉村 崇 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	原子核に関連した化学の先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究の進
	め方や考え方などについて指導を行う。修士論文作成についての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(秋~冬学期)核化学半期セミナーBII

英語表記	Semestral Seminar in Nuclear Chemistry BII
授業コード	249458
No.	24CHEM6G012
単位数	4
担当教員	吉村 崇 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	原子核に関連した化学の先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究の進
	め方や考え方などについて指導を行う。修士論文作成についての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(秋~冬学期)核磁気共鳴分光学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Magnetic Resonance Spectroscopy I
授業コード	249461
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	上田 貴洋 居室: 全学教育実験棟 (サイエンスコモンズ)215 号室
	電話: 5778
	Email: ueda@museum.osaka-u.ac.jp
	豊田 二郎 居室:
	宮久保 圭祐 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	核磁気共鳴分光学に関連した先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究
	の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を行う。
	核磁気共鳴や分子のダイナミクスの基礎を理解し、研究が行えるようにする。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	自身の研究テーマに関連する研究論文の調査や、研究分野の基礎となる科目の予習・復習を
ける学習	実施すること。
教科書	
参考文献	
	研究課題に対する取り組み姿勢、理解度、成果および各種発表により総合的に評価する。
コメント	

(秋~冬学期)核磁気共鳴分光学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Magnetic Resonance Spectroscopy II
授業コード	249462
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	上田 貴洋 居室: 全学教育実験棟 (サイエンスコモンズ)215 号室
	電話: 5778
	Email: ueda@museum.osaka-u.ac.jp
	豊田 二郎 居室:
	宮久保 圭祐 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	核磁気共鳴分光学に関連した先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究
	の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を行う。
学習目標	核磁気共鳴や分子のダイナミクスの基礎を理解し、研究が行えるようにする。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	自身の研究テーマに関連する研究論文の調査や、研究分野の基礎となる科目の予習・復習を
ける学習	実施すること。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、理解度、成果および各種発表により総合的に評価する。
コメント	

(秋~冬学期) 凝縮系物理化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Physical Chemistry of Condensed Matter I
授業コード	249467
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	中澤 康浩 居室 :
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	主体的な研究活動ができるようになる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	論文、関連研究の調査し様々な側面から考察をする
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、日々の活動、研究成果などを総合的に評価
7./ >.	

(秋~冬学期) 凝縮系物理化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Physical Chemistry of Condensed Matter II
授業コード	249468
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	中澤 康浩 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	主体的な研究活動ができるようになる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	論文、関連研究の調査し様々な側面から考察をする
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、日々の活動、研究成果などを総合的な評価
7757	

(秋~冬学期) 構造錯体化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Structural Coordination Chemistry I
授業コード	249453
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	今野 巧 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	錯体化学の研究の基礎知識と技術を習得し、錯体化学の研究を実行する
特記事項	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果によって評価する。
7757	

(秋~冬学期) 構造錯体化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Structural Coordination Chemistry II
授業コード	249454
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	今野 巧 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	錯体化学の研究の専門知識と技術を習得し、錯体化学の研究を実行する
履修条件	
特記事項	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果によって評価する。
コメント	

(秋~冬学期) 構造熱科学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Structural Thermodynamics I
授業コード	249544
No.	24CHEM6G002
単位数	4
担当教員	中野 元裕 居室:
	長野 八久 居室:
	宮崎 裕司 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(秋~冬学期) 構造熱科学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Structural Thermodynamics II
授業コード	249545
No.	24CHEM6G002
単位数	4
担当教員	中野 元裕 居室:
	長野 八久 居室:
	宮崎 裕司 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(秋~冬学期) 構造物性化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Solid State Chemistry I
授業コード	249473
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	谷口 正輝 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	研究課題の学術的・社会的な位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行する。さらに、
	研究成果を論文や発表でまとめ・公表し、対話をしながら研究を発展させていく能力を身に
	つける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究課題と関連分野の研究論文を読むとともに、異なる研究分野の文献を読み、知識の幅を
ける学習	広げる。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究、発表、および論文の内容により総合評価する。
コメント	

(秋~冬学期) 構造物性化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Solid State Chemistry II
授業コード	249474
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	谷口 正輝 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	研究課題の学術的・社会的な位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行する。さらに、
	研究成果を論文や発表でまとめ・公表し、対話をしながら研究を発展させていく能力を身に
	つける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究課題と関連分野の研究論文を読むとともに、異なる研究分野の文献を読み、知識の幅を
ける学習	広げる。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究、発表、および論文の内容により総合評価する。
コメント	

(秋~冬学期)生体分子化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Molecular Biochemistry I
授業コード	249487
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	村田 道雄 居室:
	花島 慎弥 居室:
質問受付	特に指定しない (アポイントを取ってから、面会に来るように)。
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学、生物物理学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた
	上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文
	作成についての指導と助言を行う。
学習目標	有機化学および生物化学、生物物理学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深め
	ర .
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	生体分子化学および生体膜、モデル膜について、原著論文を読み解くことによって、研究知
	識を蓄積する。と同時に、論理的思考ができるように科学的考えて方を学ぶ。
 授業外にお	日頃の文献調査や総説の精読を通じて、背景情報を充分に収集すること。
ける学習	
 教科書	
参考文献	74. EL MINOS (C.)
成績評価	セミナーおよびミーティングにおける出席点と発表内容によって評価する。
コメント	

64

(秋~冬学期)生体分子化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Molecular Biochemistry II
授業コード	249488
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	村田 道雄 居室:
	花島 慎弥 居室:
質問受付	特に指定しない (アポイントを取ってから、面会に来るように)。
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学、生物物理学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた
	上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文
	作成についての指導と助言を行う。
学習目標	有機化学および生物化学、生物物理学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深め
	る。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	生体分子化学および生体膜、モデル膜について、原著論文を読み解くことによって、研究知
	識を蓄積する。と同時に、論理的思考ができるように科学的考えて方を学ぶ。
 授業外にお	日頃の文献調査や総説の精読を通じて、背景情報を充分に収集すること。
ける学習	
 教科書	原著論文をテキストとすることが多いので、特に指定しない。
参考文献	
成績評価	セミナーおよびミーティングにおける出席点と発表内容によって評価する。
コメント	

65

(秋~冬学期)生体分子機能構造計測学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Structural Molecular Biology I
授業コード	249560
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、 維持
	されている。 本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するため
	に、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学
	ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。
	関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成
	果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、
	研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな
	研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
学習目標	当該分野の基礎学習に基づいて, 研究論文を口頭発表できるようになること
履修条件 ————————————————————————————————————	物理化学, 構造生物学についての基礎知識を有すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。
	核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体
	NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エ
	ネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基準がある。
	礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解
	析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	
教科書 	適宜指示する。
参考文献 	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価する。
7/1/	る。 学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでな
コメント	
	い、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレート
	することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者の発表に対しても標準的に発表し、問題を紹治さればなわく、問題を発見していく出れた。
	の発表に対しても積極的に発言し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を 按ってほし、
	培ってほしい。

(秋~冬学期)生体分子機能構造計測学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Structural Molecular Biology II
授業コード	249561
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象 	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、 維持
	されている。 本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するため
	に、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学
	ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。
	関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成
	果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、 専門書や最新論文の読解および批判的論評、
	研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな
	研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
学習目標	当該分野の基礎学習に基づいて, 研究論文を口頭発表できるようになること
履修条件	物理化学, 構造生物学についての基礎知識を有すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。
	核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体
	NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エ
	ネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基
	礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解
	析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	
教科書	適宜指示する。
参考文献	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	る。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでな
	い、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレート
	い、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレート することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者
	することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者

(秋~冬学期)生物物理化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Biophysical Chemistry I
授業コード	249465
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	水谷 泰久 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	生物物理化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な研究の進め
	方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成についての指導と助
	言を行う。
学習目標	生物物理化学化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力を獲得する。
	特になし
特記事項	
授業計画	生物物理化学に関する先端的研究課題の指導を行う。先端的分光法を用いたタンパク質の機
	能発現機構解明について基礎から最新の研究を学ぶ。また、学会発表や論文作成など研究成
	果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	関連分野に関する文献を読み、生物物理化学に対する理解を深める。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
7/1/	

(秋~冬学期) 生物物理化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Biophysical Chemistry II
授業コード	249466
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	水谷 泰久 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	生物物理化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な研究の進め
	方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成についての指導と助
	言を行う。
学習目標	生物物理化学化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	生物物理化学に関する先端的研究課題の指導を行う。先端的分光法を用いたタンパク質の機
	能発現機構解明について基礎から最新の研究を学ぶ。また、学会発表や論文作成など研究成
	果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	関連分野に関する文献を読み、生物物理化学に対する理解を深める。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。

(秋~冬学期)生物無機化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Bioinorganic Chemistry I
授業コード	249445
No.	24CHEM6G214
単位数	4
担当教員	舩橋 靖博 居室 :
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	先端的な研究分野についての理解に基づき、生物無機化学に関連したより発展的な研究を遂
	行する。
学習目標	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。
特記事項	
授業計画	生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。
	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業外にお	学術論文を読んだり、新たな研究の提案や研究の進捗状況の報告を準備する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	学術的な背景の説明と研究提案、ならびにその成果発表が評価されます。
コメント	

(秋~冬学期)生物無機化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Bioinorganic Chemistry II
授業コード	249446
No.	24CHEM6G214
単位数	4
担当教員	舩橋 靖博 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	先端的な研究分野についての理解に基づき、生物無機化学に関連したより発展的な研究を遂
	行する。
学習目標	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。
履修条件	
特記事項	
特記事項授業計画	生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。
	生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。 http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業計画	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業外にお	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業外における学習	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業計画 授業外にお ける学習 教科書	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/

(秋~冬学期) 反応化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Chemical Reaction Dynamics I
授業コード	249463
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	松本 卓也 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	自ら課題について、学術上の位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行し、外部に対す
	る発表ができる。
	論文執筆ができる。
履修条件	学生便覧参照
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究室のマシンタイム、学会発表の締め切りなどを勘案し、時間に制約を設けず、目標を達
ける学習	成する。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、プロセス、成果を総合的に評価する。
コメント	

(秋~冬学期) 反応化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Chemical Reaction Dynamics II
授業コード	249464
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	松本 卓也 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	自ら課題について、学術上の位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行し、外部に対す
	る発表ができる。
	論文執筆ができる。
履修条件	学生便覧参照
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究室のマシンタイム、学会発表の締め切りなどを勘案し、時間に制約を設けず、目標を達
ける学習	成する。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、プロセス、成果を総合的に評価する。
コメント	

(秋~冬学期)表面化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Surface Chemistry I
授業コード	249469
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	固体表面の物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な理解を深め、具体的な研究
	の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を行う。
学習目標	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	隔週ごとに実験報告と論文紹介を交代で行う。
	外国人が出席するときにはレジメは英語とする。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーの出席、参加態度および発表で評価する。
7.75.1	

(秋~冬学期)表面化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Surface Chemistry II
授業コード	249470
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	固体表面の物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な理解を深め、具体的な研究
	の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	隔週ごとに実験報告と論文紹介を交代で行う。
	外国人が出席するときにはレジメは英語とする。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーの出席、参加態度および発表で評価する。
コメント	

(秋~冬学期) 物性錯体化学半期セミナーAI

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry AI
授業コード	249449
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	石川 直人 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(秋~冬学期) 物性錯体化学半期セミナーAII

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry AII
授業コード	249451
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	石川 直人 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な分野についての基礎的な
	理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

(秋~冬学期) 物性錯体化学半期セミナーBI

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry BI
授業コード	249450
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	山口 和也 居室:
質問受付	随時
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。論文・実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深める。具体的な研究の進め方や考え方などを修得する。指導と助言により研究を
	完成する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学習目標達成のために、各自主体的に取り組むこと。
ける学習	
教科書	最新刊の雑誌
参考文献	Chemistry of the Elements, Greenwood Earnshaw, Second Ed., 1997, Butterworth Heine-
	mann.
	Advabced Inorganic Chemistry, F. Albert Cotton, G. Wilkinson, C.A. Murrillo, and M.
	Bochmann, Sixth Ed. 1999, John Wiley & Sons, Inc.
成績評価	論文発表、プレゼンテーション、質問、理解度等を含めて総合的に行う。
コメント	

(秋~冬学期) 物性錯体化学半期セミナーBII

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry BII
授業コード	249452
No.	24CHEM6G008
単位数	4
担当教員	山口 和也 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。論文・実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深める。具体的な研究の進め方や考え方などを修得する。指導と助言により研究を
	完成する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学習目標達成のために、各自主体的に取り組むこと。
ける学習	
教科書	最新刊の雑誌
参考文献	Chemistry of the Elements, Greenwood Earnshaw, Second Ed., 1997, Butterworth Heine-
	mann.
	Advabced Inorganic Chemistry, F. Albert Cotton, G. Wilkinson, C.A. Murrillo, and M.
	Bochmann, Sixth Ed. 1999, John Wiley & Sons, Inc.
成績評価	論文発表、プレゼンテーション、質問、理解度等を含めて総合的に行う。
コメント	

(秋~冬学期) 分析化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry I
授業コード	249447
No.	24CHEM6G206
単位数	4
担当教員	塚原 聡 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学に関連した先端的な研究について理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方につ
	いて指導を行う。
学習目標	与えられた研究課題に対して、具体的な実験方法を考案して構築し、データを得ることがで
	きる。得たデータを解析し、議論することができる。さらに自分で考え、新しい課題の設定
	をすることができる。
	最新の分析化学に関する論文を読み、それを研究室の構成員に対して判りやすく紹介できる。
	紹介後の質問にも適切に答えられる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	主に, 界面分析法の開発, 電場・磁場を利用する微粒子分離法, キラル光学分析法の開発 につ
	いて研究する。
授業外にお	予め論文を読み、その背景や実験方法、解析法について調べる。
ける学習	
	紹介後は、そのときの質問事項について充分答えられたかを自己チェックし、不充分であっ
	た場合は,後日回答を追加する。
教科書	随時指定する
参考文献	随時指定する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢,成果,各種発表により総合的に評価する。
コメント	

(秋~冬学期) 分析化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Coordination Chemistry II
授業コード	249448
No.	24CHEM6G206
単位数	4
担当教員	塚原 聡 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学の先端的研究を行い, 研究の実施方法について指導を行う。修士論文実験について
	の指導と助言を行う。英語論文の作成法を指導する。
学習目標	与えられた研究課題に対して,具体的な実験方法を考案して構築し,データを得ることがで
	きる。得たデータを解析し、議論することができる。さらに自分で考え、新しい課題の設定
	をすることができる。
	最新の分析化学に関する論文を読み、それを研究室の構成員に対して判りやすく紹介できる。
	紹介後の質問にも適切に答えられる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	主に、界面分析法の開発、電場・磁場を利用する微粒子分離法、キラル光学分析法の開発 につ
	いて研究する。
授業外にお	予め論文を読み、その背景や実験方法、解析法について調べる。
ける学習	
	紹介後は、そのときの質問事項について充分答えられたかを自己チェックし、不充分であっ
	た場合は,後日回答を追加する。
教科書	随時指定する
参考文献	随時指定する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢,成果,各種発表により総合的に評価する。
コメント	

(秋~冬学期)粒子ビーム化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Beam Chemistry I
授業コード	249558
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	岡田 美智雄 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、特に表面化学反応に関連した先端的な分野についての基礎的な理解を深め、具体
	的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を
	行う。
学習目標	物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力
	を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定する。最先端の研究教育機器の開発を通じて、ものづく
	りに根ざした物理化学研究を展開する。特に独自の先端機器を開発しながら、原子や分子に
	より構成される粒子ビームが固体表面で引き起こす化学反応素過程について研究し、その制
	御を目指す。一方で、粒子ビームを利用したオリジナルの表面分析機器の開発にも取り組
	み、幅広い意味での表面科学の諸問題の解決を目指す。
授業外にお	研究課題に関連する論文や専門書を読み、理解する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組む姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
7.75.1	

(秋~冬学期) 粒子ビーム化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Beam Chemistry II
授業コード	249559
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	岡田 美智雄 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、特に表面化学反応に関連した先端的な分野についての基礎的な理解を深め、具体
	的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験についての指導と助言を
	行う。
学習目標	物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力
	を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定する。最先端の研究教育機器の開発を通じて、ものづく
	りに根ざした物理化学研究を展開する。特に独自の先端機器を開発しながら、原子や分子に
	より構成される粒子ビームが固体表面で引き起こす化学反応素過程について研究し、その制
	御を目指す。一方で、粒子ビームを利用したオリジナルの表面分析機器の開発にも取り組
	み、幅広い意味での表面科学の諸問題の解決を目指す。
授業外にお	研究課題に関連する論文や専門書を読み、理解する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組む姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
7.75.1	

(秋~冬学期)量子化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Quantum Chemistry I
授業コード	249459
No.	24CHEM6G007
単位数	4
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	参考論文などを読む
ける学習	
教科書	
参考文献	適宜指示する。
成績評価	負担の取り組む姿勢 (50%) と成果 (50%) を総合的に評価する。

(秋~冬学期)量子化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Quantum Chemistry II
授業コード	249460
No.	24CHEM6G007
単位数	4
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	量子化学の基礎を身につけ、研究を行う
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	参考論文などを読む
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	負担の取り組む姿勢 (50%) と成果 (50%) を総合的に評価する。
7.7.7.1	

- 4. 化学専攻 A コース後期課程
- 4 化学専攻 Aコース後期課程

核化学特別セミナーAI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Chemistry AI
授業コード	241483
No.	24CHEM7G012
単位数	9
担当教員	篠原 厚 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表により総合的に評価する。
コメント	

87

核化学特別セミナーAII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Chemistry AII
授業コード	241484
No.	24CHEM7G012
単位数	9
担当教員	篠原 厚 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表により総合的に評価する。
コメント	

核化学特別セミナーAIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Chemistry AIII
授業コード	241485
No.	24CHEM7G012
単位数	9
担当教員	篠原 厚 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表により総合的に評価する。
コメント	

核化学特別セミナーBI

Seminar for Advanced Researches in Nuclear Chemistry BI
241486
24CHEM7G012
9
吉村 崇 居室:
化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
通年
その他
原子核に関連した化学分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考
力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際に
は、その指導と助言を行う。

核化学特別セミナーBII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Chemistry BII
授業コード	241487
No.	24CHEM7G012
単位数	9
担当教員	吉村 崇 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	原子核に関連した化学分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考
	力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際に
	は、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

核化学特別セミナーBIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Chemistry BIII
授業コード	241488
No.	24CHEM7G012
単位数	9
担当教員	吉村 崇 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	原子核に関連した化学分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考
	力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際に
	は、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

核磁気共鳴分光学特別セミナーI

+++ == ++ ==	
英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Magnetic Resonance Spectroscopy I
授業コード	241492
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	上田 貴洋 居室: 全学教育実験棟 (サイエンスコモンズ)215 号室
	電話: 5778
	Email: ueda@museum.osaka-u.ac.jp
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、とくに核磁気共鳴分光学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じ
	て、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博
	士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	核磁気共鳴や分子のダイナミクスの基礎を理解し、研究が行えるようにする。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	自身の研究テーマに関連する研究論文の調査や、研究分野の基礎となる科目の予習・復習を
ける学習	実施すること。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、理解度、成果および各種発表により総合的に評価する。
コメント	

核磁気共鳴分光学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Magnetic Resonance Spectroscopy II
授業コード	241493
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	上田 貴洋 居室: 全学教育実験棟 (サイエンスコモンズ)215 号室
	電話: 5778
	Email: ueda@museum.osaka-u.ac.jp
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、とくに核磁気共鳴分光学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じ
	て、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博
	士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	核磁気共鳴や分子のダイナミクスの基礎を理解し、研究が行えるようにする。
特記事項 —————	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	自身の研究テーマに関連する研究論文の調査や、研究分野の基礎となる科目の予習・復習を
ける学習	実施すること。
教科書	
参考文献	
成績評価	究課題に対する取り組み姿勢、理解度、成果および各種発表により総合的に評価する。
コメント	

核磁気共鳴分光学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Magnetic Resonance Spectroscopy III
授業コード	241494
No.	24CHEM7G200
 単位数	9
担当教員	上田 貴洋 居室: 全学教育実験棟 (サイエンスコモンズ)215 号室
	電話: 5778
	Email: ueda@museum.osaka-u.ac.jp
 質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
 場所	その他
 目的と概要	物理化学、とくに核磁気共鳴分光学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じ
	て、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博
	士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	核磁気共鳴や分子のダイナミクスの基礎を理解し、研究が行えるようにする。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	自身の研究テーマに関連する研究論文の調査や、研究分野の基礎となる科目の予習・復習を
ける学習	実施すること。
教科書	
参考文献	
成績評価	究課題に対する取り組み姿勢、理解度、成果および各種発表により総合的に評価する。
コメント	

凝縮系物理化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Physical Chemistry of Condensed Matter I
授業コード	241504
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	中澤 康浩 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	主体的な研究活動ができるようになる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	論文、関連研究の調査し様々な側面から考察をする
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、日々の活動、研究成果などを総合的に評価

凝縮系物理化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Physical Chemistry of Condensed Matter II
授業コード	241505
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	中澤 康浩 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	主体的な研究活動ができるようになる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	論文、関連研究の調査し様々な側面から考察をする
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、日々の活動、研究成果などを総合的に評価
コメント	

凝縮系物理化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Physical Chemistry of Condensed Matter III
授業コード	241506
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	中澤 康浩 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	主体的な研究活動ができるようになる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	論文、関連研究の調査し様々な側面から考察をする
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、日々の活動、研究成果などを総合的に評価

構造錯体化学特別セミナーⅠ

英語表記	Seminar for Advanced Research in Structural Coordination Chemistry I
授業コード	241480
No.	24CHEM7G008
単位数	9
担当教員	今野 巧 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	錯体化学の研究を行う能力を身につけること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果によって評価する。
コメント	

構造錯体化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Structural Coordination Chemistry II
授業コード	241481
No.	24CHEM7G008
単位数	9
担当教員	今野 巧 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	錯体化学の研究を行う能力を身につけること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果によって評価する。
コメント	

構造錯体化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Structural Coordination Chemistry III
授業コード	241482
No.	24CHEM7G008
単位数	9
担当教員	今野 巧 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	錯体化学の研究を行う能力を身につけること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果によって評価する。
コメント	

構造熱科学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Thermodynamics I
授業コード	241510
No.	24CHEM7G002
単位数	9
担当教員	中野 元裕 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	

構造熱科学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Thermodynamics II
授業コード	241511
No.	24CHEM7G002
単位数	9
担当教員	中野 元裕 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

構造熱科学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Thermodynamics III
授業コード	241512
No.	24CHEM7G002
単位数	9
担当教員	中野 元裕 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。 研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	
コメント	

構造物性化学特別セミナーⅠ

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Solid State Chemistry I
授業コード	241513
No.	24CHEM7G002
 単位数	9
担当教員	
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	研究課題の学術的・社会的な位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行する。さらに、
	研究成果を論文や発表でまとめ・公表し、対話をしながら研究を発展させていく能力を身に
	つける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究課題と関連分野の研究論文を読むとともに、異なる研究分野の文献を読み、知識の幅を
ける学習	広げる。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究、発表、および論文の内容により総合評価する。
コメント	

構造物性化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Solid State Chemistry II
授業コード	241514
No.	24CHEM7G002
単位数	9
担当教員	谷口 正輝 居室:
質問受付	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	研究課題の学術的・社会的な位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行する。さらに、
	研究成果を論文や発表でまとめ・公表し、対話をしながら研究を発展させていく能力を身に
	つける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究課題と関連分野の研究論文を読むとともに、異なる研究分野の文献を読み、知識の幅を
ける学習	広げる。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究、発表、および論文の内容により総合評価する。
_ / >	

構造物性化学特別セミナーIII

	Seminar for Advanced Researches in Solid State Chemistry III
授業コード	241515
No.	24CHEM7G002
単位数	9
担当教員	
33,,,,	
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	研究課題の学術的・社会的な位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行する。さらに、
	研究成果を論文や発表でまとめ・公表し、対話をしながら研究を発展させていく能力を身に
	つける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究課題と関連分野の研究論文を読むとともに、異なる研究分野の文献を読み、知識の幅を
ける学習	広げる。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究、発表、および論文の内容により総合評価する。
コメント	

生体分子機能構造計測学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Molecular Biology I
授業コード	241522
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	藤原 敏道 居室:
 質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、維持されている。本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するために、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
	当該分野の基礎学習に基づいて,研究論文を口頭発表できるようになること
履修条件	物理化学、構造生物学についての基礎知識を有すること
 特記事項	
授業計画	【講義内容】 具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものである。 核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体 NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	
教科書	適宜指示する。
参考文献	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価する。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでない、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレートすることで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者の発表に対しても積極的に発言し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

生体分子機能構造計測学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Molecular Biology II
 授業コード	241523
No.	24CHEM7G200
 単位数	9
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、 維持
	されている。 本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するため
	に、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学
	ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。
	関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成
	果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、 専門書や最新論文の読解および批判的論評、
	研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな
	研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
学習目標	当該分野の基礎学習に基づいて,研究論文を口頭発表できるようになること
履修条件	物理化学, 構造生物学についての基礎知識を有すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	వ .
	核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体
	NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エ
	ネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基
	礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解
les NIV Et a la	析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	本中化一よっ
教科書	適宜指示する。
参考文献	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価する。
	る。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでない。そのことが他の知識とどのとうな関連性も共っているのか、他の知識とくいっぱし、と
	い、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレート
	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O
	することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者
	することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者 の発表に対しても積極的に発言し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を 培ってほしい。

生体分子機能構造計測学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Molecular Biology III
授業コード	241524
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、 維持
	されている。 本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するため
	に、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学
	ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。
	関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成
	果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、
	研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな
	研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
学習目標	当該分野の基礎学習に基づいて, 研究論文を口頭発表できるようになること
履修条件	物理化学, 構造生物学についての基礎知識を有すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。
	核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体
	NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エ
	ネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基
	礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解
	析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	
教科書	適宜指示する。
参考文献	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	る。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでな
	い、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレート
	することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者
	の発表に対しても積極的に発言し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を
	培ってほしい。

生体分子動的解析学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Molecular Biophysics I
授業コード	241519
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	バイオインフォマティクス (生命情報科学) は、生命体の持つ遺伝情報の情報学的解析によ
	り生命現象を理解しようとする新しい学問領域であり、生物学・化学・物理・数学・情報学
	などの学際分野である。データベース解析とシミュレーション計算の手法を習得し、それら
	を用いたバイオインフォマティクス研究による生命活動をシステムとして理解する。具体的
	には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、 研究デザインに関する議論、自身の研
	究結果の取りまとめと発表、 他研究者とのさまざまな研究連絡、国内および国際学会にお
	ける発表、 海外の研究室における研究、 原著論文や総説の執筆、審査員や編集者とのなど
	との議論、などが含まれる。
学習目標	データベース解析とシミュレーション計算の手法を習得し、それらを用いたバイオインフォ
	マティクス研究による生命活動をシステムとして理解することができる
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。データベース解析による統合的解析研究、分子シミュレーションの実践による物理化学
	に基づいた演繹的な生体分子系の理解、多数の異なる蛋白質分子が協同的に働いて情報を伝
	達する様を網羅的に解析するプロテオミクスを対象としたバイオインフォマティクス研究、
	より高次の細胞間ネットワークに関するシミュレーション等の理論的アプローチの研究。
授業外にお	教科書・教材、参考文献を利用して、予習あるいは復習を行うこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	3.
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。

生体分子動的解析学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Molecular Biophysics II
授業コード	241520
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象 	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	バイオインフォマティクス (生命情報科学) は、生命体の持つ遺伝情報の情報学的解析により生命現象を理解しようとする新しい学問領域であり、生物学・化学・物理・数学・情報学などの学際分野である。データベース解析とシミュレーション計算の手法を習得し、それらを用いたバイオインフォマティクス研究による生命活動をシステムとして理解する。具体的には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな研究連絡、国内および国際学会における発表、海外の研究室における研究、原著論文や総説の執筆、審査員や編集者とのなどとの議論、などが含まれる。
学習目標	データベース解析とシミュレーション計算の手法を習得し、それらを用いたバイオインフォ マティクス研究による生命活動をシステムとして理解することができる
 特記事項	
授業計画	【講義内容】 具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものである。データベース解析による統合的解析研究、分子シミュレーションの実践による物理化学に基づいた演繹的な生体分子系の理解、多数の異なる蛋白質分子が協同的に働いて情報を伝達する様を網羅的に解析するプロテオミクスを対象としたバイオインフォマティクス研究、より高次の細胞間ネットワークに関するシミュレーション等の理論的アプローチの研究。
授業外にお	教科書・教材、参考文献を利用して、予習あるいは復習を行うこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	る。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。

生体分子動的解析学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Molecular Biophysics III
授業コード	241521
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	バイオインフォマティクス (生命情報科学) は、生命体の持つ遺伝情報の情報学的解析によ
	り生命現象を理解しようとする新しい学問領域であり、生物学・化学・物理・数学・情報学
	などの学際分野である。データベース解析とシミュレーション計算の手法を習得し、それら
	を用いたバイオインフォマティクス研究による生命活動をシステムとして理解する。具体的
	には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、 研究デザインに関する議論、自身の研
	究結果の取りまとめと発表、 他研究者とのさまざまな研究連絡、国内および国際学会にお
	ける発表、 海外の研究室における研究、 原著論文や総説の執筆、審査員や編集者とのなど
	との議論、などが含まれる。
学習目標	データベース解析とシミュレーション計算の手法を習得し、それらを用いたバイオインフォ
	マティクス研究による生命活動をシステムとして理解することができる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。データベース解析による統合的解析研究、分子シミュレーションの実践による物理化学
	に基づいた演繹的な生体分子系の理解、多数の異なる蛋白質分子が協同的に働いて情報を伝
	達する様を網羅的に解析するプロテオミクスを対象としたバイオインフォマティクス研究、
	より高次の細胞間ネットワークに関するシミュレーション等の理論的アプローチの研究。
授業外にお	教科書・教材、参考文献を利用して、予習あるいは復習を行うこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	వ .
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。

生物物理化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Biophysical Chemistry I
授業コード	241501
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	水谷 泰久 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	生物物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究の進
	め方や考え方などについて指導を行う。研究成果を博士論文としてまとめる際には、その指
	導と助言を行う。
	生物物理化学化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力を獲得する。
	特になし
特記事項	
授業計画	生物物理化学に関する先端的研究課題の指導を行う。先端的分光法を用いたタンパク質の機
	能発現機構解明について基礎から最新の研究を学ぶ。また、学会発表や論文作成など研究成
	果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	関連分野に関する文献を読み、生物物理化学に対する理解を深める。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。

生物物理化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Biophysical Chemistry II
授業コード	241502
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	水谷 泰久 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	生物物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究の進
	め方や考え方などについて指導を行う。研究成果を博士論文としてまとめる際には、その指
	導と助言を行う。
学習目標	生物物理化学化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	生物物理化学に関する先端的研究課題の指導を行う。先端的分光法を用いたタンパク質の機
	能発現機構解明について基礎から最新の研究を学ぶ。また、学会発表や論文作成など研究成
	果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	関連分野に関する文献を読み、生物物理化学に対する理解を深める。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。

生物物理化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Biophysical Chemistry III
授業コード	241503
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	水谷 泰久 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	生物物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究の進
	め方や考え方などについて指導を行う。研究成果を博士論文としてまとめる際には、その指
	導と助言を行う。
学習目標	生物物理化学化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力を獲得する。
	特になし
特記事項	
授業計画	生物物理化学に関する先端的研究課題の指導を行う。先端的分光法を用いたタンパク質の機
	能発現機構解明について基礎から最新の研究を学ぶ。また、学会発表や論文作成など研究成
	果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	関連分野に関する文献を読み、生物物理化学に対する理解を深める。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。

生物無機化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Research in Bioinorganic Chemistry I
授業コード	241468
No.	24CHEM7G214
単位数	9
担当教員	舩橋 靖博 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	先端的な研究分野についての深い理解に基づき、生物無機化学に関連したより発展的な研究
	を遂行する。
学習目標	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。
履修条件	
特記事項	
授業計画	生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。
	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業外にお	学術論文を読み、新たな研究の提案や研究の進捗状況の報告を準備する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	学術的な背景の説明と研究提案、ならびにその成果発表が評価されます。
コメント	

生物無機化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Bioinorganic Chemistry II
授業コード	241469
No.	24CHEM7G214
単位数	9
担当教員	舩橋 靖博 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	先端的な研究分野についての深い理解に基づき、生物無機化学に関連したより発展的な研究
	を遂行する。
学習目標	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。
特記事項	
授業計画	生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。
	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業外にお	学術論文を読み、新たな研究の提案や研究の進捗状況の報告を準備する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	学術的な背景の説明と研究提案、ならびにその成果発表が評価されます。
コメント	

生物無機化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Bioinorganic Chemistry III
授業コード	241470
No.	24CHEM7G214
単位数	9
担当教員	舩橋 靖博 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	先端的な研究分野についての深い理解に基づき、生物無機化学に関連したより発展的な研究
	を遂行する。
学習目標	学術論文を注意深く読み、理学的な実験研究を行い、その進捗状況を報告すること。
履修条件	
特記事項	
授業計画	生物無機化学研究室における研究内容は「研究科紹介・化学専攻」を参照されたい。
	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/pamphlet/pamphlet-2017k/
授業外にお	学術論文を読み、新たな研究の提案や研究の進捗状況の報告を準備する。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	学術的な背景の説明と研究提案、ならびにその成果発表が評価されます。
コメント	

反応化学特別セミナーI

 英語表記	Seminar for Advanced Researches in Chemical Reaction Dynamics I
授業コード	241495
No.	24CHEM7G200
 単位数	9
担当教員	松本 卓也 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	自ら課題について、学術上の位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行し、外部に対す
	る発表ができる。
	論文執筆ができる。
履修条件	学生便覧参照
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究室のマシンタイム、学会発表の締め切りなどを勘案し、時間に制約を設けず、目標を達
ける学習	成する。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、プロセス、成果を総合的に評価する。
コメント	

反応化学特別セミナーII

 英語表記	Seminar for Advanced Researches in Chemical Reaction Dynamics II
 授業コード	241496
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	松本 卓也 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	自ら課題について、学術上の位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行し、外部に対す
	る発表ができる。
	論文執筆ができる。
履修条件	学生便覧参照
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究室のマシンタイム、学会発表の締め切りなどを勘案し、時間に制約を設けず、目標を達
ける学習	成する。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、プロセス、成果を総合的に評価する。
コメント	

反応化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Chemical Reaction Dynamics III
授業コード	241497
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	松本 卓也 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験につ
	いての指導と助言を行う。
学習目標	自ら課題について、学術上の位置づけを理解し、自ら研究計画を立てて実行し、外部に対す
	る発表ができる。
	論文執筆ができる。
履修条件	学生便覧参照
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究室のマシンタイム、学会発表の締め切りなどを勘案し、時間に制約を設けず、目標を達
ける学習	成する。
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、プロセス、成果を総合的に評価する。
コメント	

表面化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Research in Surface Chemistry I
授業コード	241507
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	固体表面の物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔
	軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまと
	める際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	隔週ごとに実験報告と論文紹介を交代で行う。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーの出席、参加態度および発表で評価する。

表面化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Surface Chemistry II
授業コード	241508
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	固体表面の物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔
	軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまと
	める際には、その指導と助言を行う。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	隔週ごとに実験報告と論文紹介を交代で行う。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーの出席、参加態度および発表で評価する。

表面化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Surface Chemistry III
授業コード	241509
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	固体表面の物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔
	軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまと
	める際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
	隔週ごとに実験報告と論文紹介を交代で行う。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーの出席、参加態度および発表で評価する。

物性錯体化学特別セミナーAI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Coordination Chemistry AI
授業コード	241474
No.	24CHEM7G008
単位数	9
担当教員	石川 直人 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表により総合的に評価する。
コメント	

物性錯体化学特別セミナーAII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Coordination Chemistry AII
授業コード	241475
No.	24CHEM7G008
単位数	9
担当教員	石川 直人 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表により総合的に評価する。
コメント	

物性錯体化学特別セミナーAIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Coordination Chemistry AIII
授業コード	241476
No.	24CHEM7G008
単位数	9
担当教員	石川 直人 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表により総合的に評価する。
コメント	

物性錯体化学特別セミナーBI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Coordination Chemistry BI
授業コード	241477
No.	24CHEM7G008
単位数	9
担当教員	山口 和也 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。論文・実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深める。具体的な研究の進め方や考え方などを修得する。指導と助言により研究を
	完成する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学習目標達成のために、各自主体的に取り組むこと。
ける学習	
教科書 —————	最新刊の雑誌
参考文献	Chemistry of the Elements, Greenwood Earnshaw, Second Ed., 1997, Butterworth Heine-
	mann.
	Advabced Inorganic Chemistry, F. Albert Cotton, G. Wilkinson, C.A. Murrillo, and M.
	Bochmann, Sixth Ed. 1999, John Wiley & Sons, Inc.
成績評価	論文発表、プレゼンテーション、質問、理解度等を含めて総合的に行う。
コメント	

129

物性錯体化学特別セミナーBII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Coordination Chemistry BII
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
授業コード	241478
No.	24CHEM7G008
单位数 	9
担当教員	山口 和也 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。論文・実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深める。具体的な研究の進め方や考え方などを修得する。指導と助言により研究を
	完成する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学習目標達成のために、各自主体的に取り組むこと。
ける学習	
教科書	最新刊の雑誌
参考文献	Chemistry of the Elements, Greenwood Earnshaw, Second Ed., 1997, Butterworth Heine-
	mann.
	Advabced Inorganic Chemistry, F. Albert Cotton, G. Wilkinson, C.A. Murrillo, and M.
	Bochmann, Sixth Ed. 1999, John Wiley & Sons, Inc.
	論文発表、プレゼンテーション、質問、理解度等を含めて総合的に行う。
7.7.7.1	

物性錯体化学特別セミナーBIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Coordination Chemistry BIII
授業コード	241479
No.	24CHEM7G008
単位数	9
担当教員	山口 和也 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。論文・実験につい
	ての指導と助言を行う。
学習目標	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的
	な理解を深める。具体的な研究の進め方や考え方などを修得する。指導と助言により研究を
	完成する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学習目標達成のために、各自主体的に取り組むこと。
ける学習	
教科書	最新刊の雑誌
参考文献	Chemistry of the Elements, Greenwood Earnshaw, Second Ed., 1997, Butterworth Heine-
	mann.
	Advabced Inorganic Chemistry, F. Albert Cotton, G. Wilkinson, C.A. Murrillo, and M.
D /	Bochmann, Sixth Ed. 1999, John Wiley & Sons, Inc.
成績評価	論文発表、プレゼンテーション、質問、理解度等を含めて総合的に行う。

物性有機化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Physical Organic Chemistry I
授業コード	241528
No.	24CHEM7G209
単位数	9
担当教員	小川 琢治 居室:
質問受付	随時
履修対象	必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	研究室内において行われている研究内容について、研究者による発表と議論を行い、研究内
	容を深めると同時に、知識を深める。
学習目標	自らの研究内容について説明し、最近1ヶ月程度の研究の進展について報告する。その結果
	を研究室全体で議論して、研究内容についての議論を深める。他の学生やスタッフの研究内
	容についても、質問や議論を行う事で、研究を行う上で必要なロジックや基礎知識を身につ
	ける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	原則、毎週水曜日の 9 時から 12 時に行う。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	成績評価は、出席と発言で行う。病欠や、やむを終えない事情による欠席は、欠席とカウン
	トしない。

分析化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analytical Chemistry I
授業コード	241471
No.	24CHEM7G206
単位数	9
担当教員	塚原 聡 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 1 年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学に関連した分野の先端的な研究の指導を通じて、緻密な思考力と創造的な発想力を
	もつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際には,
	その指導と助言を行う。
学習目標	与えられた研究課題に対して、具体的な実験方法を考案して構築し、データを得ることがで
	きる。得たデータを解析し、議論することができる。さらに自分で考え、新しい課題の設定
	をすることができる。
	最新の分析化学に関する論文を読み、それを研究室の構成員に対して判りやすく紹介できる。
	紹介後の質問にも適切に答えられる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	主に,界面分析法の開発,電場・磁場を利用する微粒子分離法,キラル光学分析法の開発 につ
	いて研究する。
授業外にお	予め論文を読み、その背景や実験方法、解析法について調べる。
ける学習	
	紹介後は、そのときの質問事項について充分答えられたかを自己チェックし、不充分であっ
	た場合は,後日回答を追加する。
教科書	随時指定する
参考文献	随時指定する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢,成果,各種発表により総合的に評価する。
コメント	

分析化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analytical Chemistry II
授業コード	241472
No.	24CHEM7G206
単位数	9
担当教員	塚原 聡 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 2 年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学に関連した分野の先端的な研究の指導を通じて、緻密な思考力と創造的な発想力を
	もつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際には、
	その指導と助言を行う。
学習目標	与えられた研究課題に対して、具体的な実験方法を考案して構築し、データを得ることがで
	きる。得たデータを解析し、議論することができる。さらに自分で考え、新しい課題の設定
	をすることができる。
	最新の分析化学に関する論文を読み、それを研究室の構成員に対して判りやすく紹介できる。
	紹介後の質問にも適切に答えられる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	主に,界面分析法の開発,電場・磁場を利用する微粒子分離法,キラル光学分析法の開発 につ
	いて研究する。
授業外にお	予め論文を読み、その背景や実験方法、解析法について調べる。
ける学習	
	紹介後は、そのときの質問事項について充分答えられたかを自己チェックし、不充分であっ
	た場合は,後日回答を追加する。
教科書	随時指定する
参考文献	随時指定する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢,成果,各種発表により総合的に評価する。
コメント	

分析化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analytical Chemistry III
授業コード	241473
No.	24CHEM7G206
単位数	9
担当教員	塚原 聡 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 3 年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	分析化学に関連した分野の先端的な研究の指導を通じて、緻密な思考力と創造的な発想力を
	もつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際には,
	その指導と助言を行う。
学習目標	与えられた研究課題に対して、具体的な実験方法を考案して構築し、データを得ることがで
	きる。得たデータを解析し、議論することができる。さらに自分で考え、新しい課題の設定
	をすることができる。
	最新の分析化学に関する論文を読み、それを研究室の構成員に対して判りやすく紹介できる。
	紹介後の質問にも適切に答えられる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	主に、界面分析法の開発、電場・磁場を利用する微粒子分離法、キラル光学分析法の開発 につ
	いて研究する。
授業外にお	予め論文を読み、その背景や実験方法、解析法について調べる。
ける学習	
	紹介後は、そのときの質問事項について充分答えられたかを自己チェックし、不充分であっ
	た場合は,後日回答を追加する。
教科書	随時指定する
参考文献	随時指定する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢,成果,各種発表により総合的に評価する。
コメント	

粒子ビーム化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Beam Chemistry I
授業コード	241498
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	岡田 美智雄 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、特に表面化学反応に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い
	視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文と
	してまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力
	を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定する。最先端の研究教育機器の開発を通じて、ものづく
	りに根ざした物理化学研究を展開する。特に独自の先端機器を開発しながら、原子や分子に
	より構成される粒子ビームが固体表面で引き起こす化学反応素過程について研究し、その制
	御を目指す。一方で、粒子ビームを利用したオリジナルの表面分析機器の開発にも取り組
	み、幅広い意味での表面科学の諸問題の解決を目指す。最先端の表面化学に加え、関連する
	表面物理学、材料科学などについても調査研究を行うとともに、セミナー発表、学会発表、
	論文作成を通じて、企画力ならびに発表力を養う。
授業外にお	研究課題に関連する論文や専門書を読み、理解し、研究課題解決に応用できるようにする。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組む姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
コメハし	

粒子ビーム化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Beam Chemistry II
授業コード	241499
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	岡田 美智雄 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、特に表面化学反応に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い
	視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文と
	してまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力
	を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定する。最先端の研究教育機器の開発を通じて、ものづく
	りに根ざした物理化学研究を展開する。特に独自の先端機器を開発しながら、原子や分子に
	より構成される粒子ビームが固体表面で引き起こす化学反応素過程について研究し、その制
	御を目指す。一方で、粒子ビームを利用したオリジナルの表面分析機器の開発にも取り組
	み、幅広い意味での表面科学の諸問題の解決を目指す。最先端の表面化学に加え、関連する
	表面物理学、材料科学などについても調査研究を行うとともに、セミナー発表、学会発表、
	論文作成を通じて、企画力ならびに発表力を養う。
授業外にお	研究課題に関連する論文や専門書を読み、理解し、研究課題解決に応用できるようにする。
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組む姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
_ / 5 . 1	

粒子ビーム化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Beam Chemistry III
授業コード	241500
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	岡田 美智雄 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	物理化学、特に表面化学反応に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い
	視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文と
	してまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力
	を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定する。最先端の研究教育機器の開発を通じて、ものづく
	りに根ざした物理化学研究を展開する。特に独自の先端機器を開発しながら、原子や分子に
	より構成される粒子ビームが固体表面で引き起こす化学反応素過程について研究し、その制
	御を目指す。一方で、粒子ビームを利用したオリジナルの表面分析機器の開発にも取り組
	み、幅広い意味での表面科学の諸問題の解決を目指す。最先端の表面化学に加え、関連する
	表面物理学、材料科学などについても調査研究を行うとともに、セミナー発表、学会発表、
	論文作成を通じて、企画力ならびに発表力を養う。
授業外にお	研究課題に関連する論文や専門書を読み、理解し、研究課題解決に応用できるようにする。
ける学習	
教科書	
参考文献	717点細胞) 対子フ斯ム如火次熱
成績評価	研究課題に対する取り組む姿勢、 成果、 各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
1 X / N	

量子化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Quantum Chemistry I
授業コード	241489
No.	24CHEM7G007
単位数	9
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	量子化学を元に、研究を行う能力を身につけること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	最先端の研究論文などを読む
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に取り組む姿勢 (50%) と成果 (50%) を元に評価する。
コメント	

量子化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Quantum Chemistry II
授業コード	241490
No.	24CHEM7G007
単位数	9
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	量子化学を元に、研究を行う能力を身につけること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	最先端の研究論文などを読む
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に取り組む姿勢 (50%) と成果 (50%) を元に評価する。
コメント	

量子化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Quantum Chemistry III
授業コード	241491
No.	24CHEM7G007
単位数	9
担当教員	奥村 光隆 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	量子化学を元に、研究を行う能力を身につけること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究に取り組む姿勢 (50%) と成果 (50%) を元に評価する。

- 5. 化学専攻 B コース前期課程
- 5 化学専攻 Βコース前期課程

(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー I

Semestral Seminar in Genome Chemistry I

	and the second s
授業コード	241098
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	中谷 和彦 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	ゲノム化学に関わる諸課題について、その背景を知るとともに、その課題の本質を明らかに
	するための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得する
学習目標	ゲノム化学に関わる諸課題について、その背景を知るとともに、その課題の本質を明らかに
	するための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得できる
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	全体的に判断する
7 1 1 1	

コメント

英語表記

(春~夏学期) ゲノム化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Genome Chemistry II
授業コード	241099
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	中谷 和彦 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	ゲノム化学に関わる諸課題について、その背景を知るとともに、その課題の本質を明らかに
	するための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得する
学習目標	ゲノム化学に関わる諸課題について、その背景を知るとともに、その課題の本質を明らかに
	するための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得できる
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	全体的に判断する
7 1 1 1	

(春~夏学期) プロテオミクス分析化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar for Analytical Chemistry for Proteomics I
授業コード	241108
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	高尾 敏文 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	<到達目標>生命現象を蛋白質の構造と機能に基づいて理解できるようになること。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究に関連する文献等を利用して、独自の研究アイデアを醸成すること
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	<u> </u>
コメント	学生の主体的研究が強く求められる。論文に書かれていることを単に理解し、その延長線上
	の実験をするのではなく、自ら独自の実験を計画し、そこから得られた知見を既存の事実と
	の関連において考察できる能力を培ってほしい。また、他者の発表に対しても積極的に発言
	し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

(春~夏学期) プロテオミクス分析化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar for Analytical Chemistry for Proteomics II
授業コード	241109
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	高尾 敏文 居室 :
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	<到達目標>生命現象を蛋白質の構造と機能に基づいて理解できるようになること。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究に関連する文献等を利用して、独自の研究アイデアを醸成すること
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	<u> న.</u>
コメント	学生の主体的研究が強く求められる。論文に書かれていることを単に理解し、その延長線上
	の実験をするのではなく、自ら独自の実験を計画し、そこから得られた知見を既存の事実と
	の関連において考察できる能力を培ってほしい。また、他者の発表に対しても積極的に発言
	し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

(春~夏学期)機能性分子化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Functional Molecular ChemistryI
授業コード	241102
No.	24CHEM6G205
単位数	4
担当教員	笹井 宏明 居室:
	鈴木 健之 居室:
	滝澤 忍 居室 : 産研 F406
	電話: 8466
	Fax: 06-6879-8469
	Email: taki@sanken.osaka-u.ac.jp
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を論文としてまと
	める際には、その指導と助言も行う。
学習目標	新規性、先進性、独創性のある研究成果をだして、プレゼンする。
履修条件	前期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日々の実験研究
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究成果とプレゼン
コメント	

(春~夏学期)機能性分子化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Functional Molecular Chemistry II
授業コード	241103
No.	24CHEM6G205
単位数	4
担当教員	笹井 宏明 居室:
	鈴木 健之 居室:
	滝澤 忍 居室: 産研 F406
	電話: 8466
	Fax: 06-6879-8469
	Email: taki@sanken.osaka-u.ac.jp
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博論文としてま
	とめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	新規性、先進性、独創性のある研究成果を得る。
履修条件	前期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	実験研究
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究成果とセミナーでのプレゼン
コメント	

(春~夏学期) 構造有機化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Structural Organic Chemistry I
授業コード	241090
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	久保 孝史 居室 :
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	π電子系有機化合物の合成に関する専門知識と技術が習得できる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学術文献と専門書を常日頃から読んでおく。
ける学習	
教科書	大学院講義有機化学、東京化学同人
	March's Advanced Organic Chemistry: Reactions, Mechanisms, and Structure
	Modern Physical Organic Chemistry
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果により評価する。
コメント	

(春~夏学期) 構造有機化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Structural Organic Chemistry II
授業コード	241091
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	久保 孝史 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	π電子系有機化合物の合成に関する専門知識と技術が習得できる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学術文献と専門書を常日頃から読んでおく。
ける学習	
教科書	大学院講義有機化学、東京化学同人
	March's Advanced Organic Chemistry: Reactions, Mechanisms, and Structure
	Modern Physical Organic Chemistry
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果により評価する。
コメント	

(春~夏学期)生体分子動的解析学半期セミナーI

 英語表記	Semestral Seminar in Molecular Biophysics I
	241086
No.	24CHEM6G200
	4
 担当教員	藤原 敏道 居室:
担ヨ教貝	上海
 質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
 開講時期	春~夏学期
 場所	その他
	演習科目
 目的と概要	生体分子の溶液中および生体膜などにおける立体構造形成と運動性、および他の分子との相
	互作用による分子認識のしくみと、それを解析するための理論・計算手法について、基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方について指導を行う。具体的には、専門書や
	最新論文の読解および批判的論評、研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りま
	とめと発表、他研究者とのさまざまな研究連絡、国内および国際学会における発表、海外
	の研究室における研究、原著論文や総説の執筆、審査員や編集者とのなどとの議論、など
	が含まれる。
 学習目標	生体分子の溶液中および生体膜などにおける立体構造形成と運動性、および他の分子との相
	互作用による分子認識のしくみと、それを解析するための理論・計算手法について、理解す
	ることができる
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。分子シミュレーションの実践による物理化学に基づいた演繹的な生体分子系の理解、生
	体分子の電子伝達や酵素反応等の機能発現をそれら分子の電子状態から解析する量子化学に
	よる理論・計算による研究。
授業外にお	参考文献を利用して、予習あるいは復習を行うこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	వ .
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。

(春~夏学期)生体分子動的解析学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Molecular Biophysics II
授業コード	241087
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生体分子の溶液中および生体膜などにおける立体構造形成と運動性、および他の分子との相
	互作用による分子認識のしくみと、それを解析するための理論・計算手法について、基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方について指導を行う。具体的には、専門書や
	最新論文の読解および批判的論評、 研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りま
	とめと発表、 他研究者とのさまざまな研究連絡、国内および国際学会における発表、 海外
	の研究室における研究、原著論文や総説の執筆、審査員や編集者とのなどとの議論、など
	が含まれる。
学習目標	生体分子の溶液中および生体膜などにおける立体構造形成と運動性、および他の分子との相
	互作用による分子認識のしくみと、それを解析するための理論・計算手法について理解する
	ことができる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。分子シミュレーションの実践による物理化学に基づいた演繹的な生体分子系の理解、生
	体分子の電子伝達や酵素反応等の機能発現をそれら分子の電子状態から解析する量子化学に
	よる理論・計算による研究。
授業外にお	教科書・教材、および参考書を利用して、予習あるいは復習を行うこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	る。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。

(春~夏学期)蛋白質分子化学半期セミナーI

	Canagatual Canainan in Dustain Chanaigtur. I
英語表記	Semestral Seminar in Protein Chemistry I
授業コード	241106
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	北條 裕信 居室:
	川上 徹 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	ペプチド合成の基礎を説明できること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。ライゲーション法に基づく (糖) 蛋白質の合成化学、蛋白質の化学的変換による合成ブ
	ロックの調製法、反応場としてのミセルと脂質、膜蛋白質の精製法と確認法、膜蛋白質の構
	造形成を指向した膜蛋白質・脂質複合体の調製法、膜蛋白質の構造解析法、修飾蛋白質の特
	異的検出手法の開発と蛋白質の解析
授業外にお	定期的に雑誌を読み、最新の研究成果に触れておくこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	ర .

(春~夏学期)蛋白質分子化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Protein Chemistry II
授業コード	241107
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	北條 裕信 居室:
	川上 徹 居室:
質問受付	随時
	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	1. ライゲーションによるタンパク質合成の基礎を説明できること
	2. 糖タンパク質合成法の基礎を説明できること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。ライゲーション法に基づく (糖) 蛋白質の合成化学、蛋白質の化学的変換による合成ブ
	ロックの調製法、反応場としてのミセルと脂質、膜蛋白質の精製法と確認法、膜蛋白質の構
	造形成を指向した膜蛋白質・脂質複合体の調製法、膜蛋白質の構造解析法、修飾蛋白質の特
	異的検出手法の開発と蛋白質の解析
授業外にお	ライゲーションや糖タンパク質合成に関する最新の論文をサーチすること
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	る。
コメント	

(春~夏学期) 天然物有機化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Natural Product Chemistry I
授業コード	241321
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	深瀬 浩一 居室:
	樺山 一哉 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深
	めた上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士
	論文作成についての指導と助言を行う。
学習目標	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力
	を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関する先端的研究課題の指導を行う。生物活性
	分子の有機合成、構造決定について基礎から最新の研究を学習する。特に生体内において
	様々な認識に関与する細胞表層糖鎖や複合糖質を主な対象として、それらの有機合成研究、
	活性鍵構造の同定と活性発現機構の解明や生体反応の制御を目指した研究について学ぶ。ま
	た学会発表や論文作成など研究成果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	研究のために、期間を通じて常に学習を継続する。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
コメント	

コクノト

(春~夏学期) 天然物有機化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Natural Product Chemistry II
授業コード	241322
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	深瀬 浩一 居室 :
	樺山 一哉 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深
	めた上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士
	論文作成についての指導と助言を行う。
学習目標	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力
	を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関する先端的研究課題の指導を行う。生物活性
	分子の有機合成、構造決定について基礎から最新の研究を学習する。特に生体内において
	様々な認識に関与する細胞表層糖鎖や複合糖質を主な対象として、それらの有機合成研究、
	活性鍵構造の同定と活性発現機構の解明や生体反応の制御を目指した研究について学ぶ。ま
	た学会発表や論文作成など研究成果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	研究のために、期間を通じて常に学習を継続する。
ける学習	
教科書 —————	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
コメント	

(春~夏学期)物性有機化学半期セミナーI

 ₩झ≠=┐	0 1 10 ' ' DI ' 10 ' CI ' ' I
英語表記	Semestral Seminar in Physical Organic Chemistry I
授業コード	241092
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	小川 琢治 居室:
質問受付	随時
履修対象	必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	最新の物性有機化学研究の現状を学ぶ。その内容を理解するのに必要な基礎的な文献を学
	చ్.
学習目標	最近1年間に発行された重要論文を読み、議論をすることで、物性有機化学分野における研
	究の最先端を知る。それと同時に、基礎的なレビューとそこに出てくる論文を読み、最新の
	研究を理解するための基礎知識を得る。
履修条件	
特記事項	
授業計画	原則、毎週土曜日 10 時から 12 時。開講日数が足りないときには、月曜日の 9 時から 12 時
	にも行うときがある。
授業外にお	自分の研究テーマに関わる過去から最新までの論文を検索読解する。自らの研究の進展につ
ける学習	いて報告し、研究室メンバーと議論する。
教科書	
参考文献	各自で探す。
成績評価	セミナーにおいては、発表するか質問するかを義務とする。発言が無い人は、出席している
	と認めない。成績評価は、発言内容により行うので、発言が無いときには欠席と同じ評価と
	する。病欠や、やむを終えない事情による欠席は、カウントしない。

(春~夏学期)物性有機化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Physical Organic Chemistry II
授業コード	241093
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	小川 琢治 居室:
質問受付	
	必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	最新の物性有機化学研究の現状を学ぶ。その内容を理解するのに必要な基礎的な文献を学
	చ్,
学習目標	最近1年間に発行された重要論文を読み、議論をすることで、物性有機化学分野における研
	究の最先端を知る。それと同時に、基礎的なレビューとそこに出てくる論文を読み、最新の
	研究を理解するための基礎知識を得る。
履修条件	
特記事項	
授業計画	原則、毎週土曜日 10 時から 12 時。開講日数が足りないときには、月曜日の 9 時から 12 時
	にも行うときがある。
授業外にお	自分の研究テーマに関わる過去から最新までの論文を検索読解する。自らの研究の進展につ
ける学習	いて報告し、研究室メンバーと議論する。
教科書	
参考文献	各自で探す。
成績評価	セミナーにおいては、発表するか質問するかを義務とする。発言が無い人は、出席している
	と認めない。成績評価は、発言内容により行うので、発言が無いときには欠席と同じ評価と
	する。病欠や、やむを終えない事情による欠席は、カウントしない。

(春~夏学期) 有機生物化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Organic Biochemistry I
授業コード	241094
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	梶原 康宏 居室:
質問受付	随時
履修対象 ————————————————————————————————————	化学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	春~夏学期
	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	生体内に存在する糖鎖や関連蛋白質について解説し、これらの役割や現象、そして合成を理
	解することを目的とする。
学習目標	最先端の糖質研究、糖鎖科学、タンパク質化学を理解する
履修条件	特になし
特記事項	特になし
授業計画	1:最新糖質化学 1
	2:最新糖質化学 2
	3:最新糖鎖化学 1
	4:最新糖鎖化学 2
	5:最新タンパク質化学 1
	6:最新タンパク質化学 2
	7:最新糖タンパク質化学 1
	8:最新糖タンパク質化学 2
	9:最新複合糖質化学 1
	10:最新複合糖質化学 2
	11:タンパク質フォールディング 1
	12:タンパク質フォールディング 2
	13:翻訳後修飾 1
	14:翻訳後修飾 2
	15:翻訳後修飾 3
授業外にお	国際誌を常に読み先端研究の流れを理解する
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
コメント	特になし

(春~夏学期) 有機生物化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Organic Biochemistry II
授業コード	241095
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	梶原 康宏 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	春~夏学期
場所	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	生体内に存在する糖鎖や関連蛋白質について解説し、これらの役割や現象、そして合成を理
	解することを目的とする。
学習目標	最先端の有機化学、糖質化学、タンパク質化学を理解する
履修条件	特になし
特記事項	特になし
授業計画	1:糖鎖の酵素合成、
	2:複合糖質の半化学合成、
	3:タンパク質の半合成、
	4:糖鎖、タンパク質関連の先端生物有機化学 1
	5:糖鎖、タンパク質関連の先端生物有機化学 2
	6: 糖鎖、タンパク質関連の先端生物有機化学 3
	7:糖鎖、タンパク質関連の先端生物有機化学 4
授業外にお	国際誌を常によみ先端研究を理解する
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、 成果、 各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
コメント	特になし

(秋~冬学期) ゲノム化学半期セミナー I

Semestral Seminar in Genome Chemistry I

	v
授業コード	249489
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	中谷 和彦 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	ゲノム化学に関わる諸課題について、その背景を知るとともに、その課題の本質を明らかに
	するための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得する
学習目標	ゲノム化学に関わる諸課題について、その背景を知るとともに、その課題の本質を明らかに
	するための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得できる
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	全体的に判断する
7 1 1 1	

コメント

英語表記

(秋~冬学期)ゲノム化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Genome Chemistry II
授業コード	249490
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	中谷 和彦 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	ゲノム化学に関わる諸課題について、その背景を知るとともに、その課題の本質を明らかに
	するための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得する
学習目標	ゲノム化学に関わる諸課題について、その背景を知るとともに、その課題の本質を明らかに
	するための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得できる
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	全体的に判断する
7./ >.	

(秋~冬学期) プロテオミクス分析化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar for Analytical Chemistry for Proteomics I
授業コード	249499
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	高尾 敏文 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	<到達目標>生命現象を蛋白質の構造と機能に基づいて理解できるようになること。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究に関連する文献等を利用して、独自の研究アイデアを醸成すること
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	<u> క</u> .
コメント	学生の主体的研究が強く求められる。論文に書かれていることを単に理解し、その延長線上
	の実験をするのではなく、自ら独自の実験を計画し、そこから得られた知見を既存の事実と
	の関連において考察できる能力を培ってほしい。また、他者の発表に対しても積極的に発言
	し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

(秋~冬学期) プロテオミクス分析化学半期セミナーII

Semestral Seminar for Analytical Chemistry for Proteomics II
249500
24CHEM6G216
4
高尾 敏文 居室:
化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
秋~冬学期
その他
有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
の指導と助言を行う。
<到達目標 > 生命現象を蛋白質の構造と機能に基づいて理解できるようになること。
【講義内容】
各研究室で個別に行う。
各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
研究に関連する文献等を利用して、独自の研究アイデアを醸成すること
適宜指示する
適宜指示する
研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
ప .
学生の主体的研究が強く求められる。論文に書かれていることを単に理解し、その延長線上
の実験をするのではなく、自ら独自の実験を計画し、そこから得られた知見を既存の事実と
の関連において考察できる能力を培ってほしい。また、他者の発表に対しても積極的に発言
し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

(秋~冬学期)機能性分子化学半期セミナーI

 英語表記	Semestral Seminar in Functional Molecular ChemistryI
授業コード	249493
No.	24CHEM6G205
単位数	4
担当教員	
	鈴木 健之 居室:
	滝澤 忍 居室 : 産研 F406
	電話: 8466
	Fax: 06-6879-8469
	Email: taki@sanken.osaka-u.ac.jp
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博論文としてま
	とめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	新規性、先進性、独創性のある研究成果を得る。
履修条件	前期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	実験研究
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究成果とセミナーでのプレゼン
コメント	

(秋~冬学期)機能性分子化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Functional Molecular Chemistry II
授業コード	249494
No.	24CHEM6G205
単位数	4
担当教員	笹井 宏明 居室:
	鈴木 健之 居室:
	滝澤 忍 居室 : 産研 F406
	電話: 8466
	Fax: 06-6879-8469
	Email: taki@sanken.osaka-u.ac.jp
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博論文としてま
	とめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	新規性、先進性、独創性のある研究成果を得る。
履修条件	前期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	実験研究
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究成果とセミナーでのプレゼン
コメント	

(秋~冬学期) 構造有機化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Structural Organic Chemistry I
授業コード	249481
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	久保 孝史 居室 :
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	π電子系有機化合物の合成に関する専門知識と技術が習得できる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学術文献と専門書を常日頃から読んでおく
ける学習	
教科書	大学院講義有機化学、東京化学同人
	March's Advanced Organic Chemistry: Reactions, Mechanisms, and Structure
	Modern Physical Organic Chemistry
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果により評価する
コメント	

(秋~冬学期) 構造有機化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Structural Organic Chemistry II
授業コード	249482
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	久保 孝史 居室 :
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	π電子系有機化合物の合成に関する専門知識と技術が習得できる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学術文献と専門書を常日頃から読んでおく。
ける学習	
教科書	大学院講義有機化学、東京化学同人
	March's Advanced Organic Chemistry: Reactions, Mechanisms, and Structure
	Modern Physical Organic Chemistry
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果により評価する。
コメント	

(秋~冬学期)生体分子動的解析学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Molecular Biophysics I
授業コード	249477
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生体分子の溶液中および生体膜などにおける立体構造形成と運動性、および他の分子との相
	互作用による分子認識のしくみと、それを解析するための理論・計算手法について、基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方について指導を行う。具体的には、専門書や
	最新論文の読解および批判的論評、 研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りま
	とめと発表、 他研究者とのさまざまな研究連絡、国内および国際学会における発表、 海外
	の研究室における研究、 原著論文や総説の執筆、審査員や編集者とのなどとの議論、など
	が含まれる。
学習目標	生体分子の立体構造形成と運動性、および他の分子との相互作用のメカニズムと、それを解
	析するための理論・計算手法について基礎的な理解を深めることができる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。分子シミュレーションの実践による物理化学に基づいた演繹的な生体分子系の理解、生
	体分子の電子伝達や酵素反応等の機能発現をそれら分子の電子状態から解析する量子化学に
	よる理論・計算による研究。
授業外にお	教科書・教材、参考文献を利用して、予習あるいは復習を行うこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	る 。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。

(秋~冬学期)生体分子動的解析学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Molecular Biophysics II
授業コード	249478
No.	24CHEM6G200
単位数	4
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生体分子の溶液中および生体膜などにおける立体構造形成と運動性、および他の分子との相
	互作用による分子認識のしくみと、それを解析するための理論・計算手法について、基礎的
	な理解を深め、具体的な研究の進め方や考え方について指導を行う。具体的には、専門書や
	最新論文の読解および批判的論評、 研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りま
	とめと発表、 他研究者とのさまざまな研究連絡、国内および国際学会における発表、 海外
	の研究室における研究、 原著論文や総説の執筆、審査員や編集者とのなどとの議論、など
	が含まれる。
学習目標	生体分子の立体構造形成と運動性、および他の分子との相互作用のメカニズムと、それを解
	析するための理論・計算手法について、基礎的な理解を深めることができる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。分子シミュレーションの実践による物理化学に基づいた演繹的な生体分子系の理解、生
	体分子の電子伝達や酵素反応等の機能発現をそれら分子の電子状態から解析する量子化学に
	よる理論・計算による研究。
授業外にお	教科書・教材、参考文献を利用して、予習あるいは復習を行うこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	<u> న.</u>
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。

(秋~冬学期)蛋白質分子化学半期セミナーI

英語表記	Semestral Seminar in Protein Chemistry I
授業コード	249497
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	北條 裕信 居室:
	川上 徹 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	ペプチド合成の基礎を説明できること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。ライゲーション法に基づく (糖) 蛋白質の合成化学、蛋白質の化学的変換による合成ブ
	ロックの調製法、反応場としてのミセルと脂質、膜蛋白質の精製法と確認法、膜蛋白質の構
	造形成を指向した膜蛋白質・脂質複合体の調製法、膜蛋白質の構造解析法、修飾蛋白質の特
	異的検出手法の開発と蛋白質の解析
授業外にお	定期的に雑誌を読み、最新の研究成果に触れておくこと
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	ర 。
7 7 5 1	

(秋~冬学期)蛋白質分子化学半期セミナーII

英語表記	Semestral Seminar in Protein Chemistry II
授業コード	249498
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	北條 裕信 居室:
	川上 徹 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深めた上、具体的な
	研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士論文作成について
	の指導と助言を行う。
学習目標	1. ライゲーションによるタンパク質合成の基礎を説明できること
	2. 糖タンパク質合成法の基礎を説明できること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。ライゲーション法に基づく (糖) 蛋白質の合成化学、蛋白質の化学的変換による合成ブ
	ロックの調製法、反応場としてのミセルと脂質、膜蛋白質の精製法と確認法、膜蛋白質の構
	造形成を指向した膜蛋白質・脂質複合体の調製法、膜蛋白質の構造解析法、修飾蛋白質の特
	異的検出手法の開発と蛋白質の解析
授業外にお	ライゲーションや糖タンパク質合成に関する最新の論文をサーチすること
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	る。
コメント	

(秋~冬学期) 天然物有機化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Natural Product Chemistry I
授業コード	249613
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	深瀬 浩一 居室:
	樺山 一哉 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深
	めた上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士
	論文作成についての指導と助言を行う。
学習目標	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力
	を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関する先端的研究課題の指導を行う。生物活性
	分子の有機合成、構造決定について基礎から最新の研究を学習する。特に生体内において
	様々な認識に関与する細胞表層糖鎖や複合糖質を主な対象として、それらの有機合成研究、
	活性鍵構造の同定と活性発現機構の解明や生体反応の制御を目指した研究について学ぶ。ま
	た学会発表や論文作成など研究成果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
コメント	

(秋~冬学期) 天然物有機化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Natural Product Chemistry II
授業コード	249614
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	深瀬 浩一 居室:
	樺山 一哉 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した先端的な研究分野の基礎的な理解を深
	めた上、具体的な研究の進め方や考え方などについて指導を行う。修士論文実験および修士
	論文作成についての指導と助言を行う。
学習目標	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力
	を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関する先端的研究課題の指導を行う。生物活性
	分子の有機合成、構造決定について基礎から最新の研究を学習する。特に生体内において
	様々な認識に関与する細胞表層糖鎖や複合糖質を主な対象として、それらの有機合成研究、
	活性鍵構造の同定と活性発現機構の解明や生体反応の制御を目指した研究について学ぶ。ま
	た学会発表や論文作成など研究成果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	研究のために、期間を通じて常に学習を継続する。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
コメント	

174

(秋~冬学期)物性有機化学半期セミナーI

	Semestral Seminar in Physical Organic Chemistry I
授業コード	249483
No.	24CHEM6G209
 単位数	4
担当教員	小川 琢治 居室:
質問受付	随時
履修対象	必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	最新の物性有機化学研究の現状を学ぶ。その内容を理解するのに必要な基礎的な文献を学
	<i>ي</i> ة.
学習目標	自分の研究テーマに関わる過去から最新までの論文を検索読解する。自らの研究の進展につ
	いて報告し、研究室メンバーと議論する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	原則、毎週土曜日 10 時から 12 時。開講日数が足りないときには、月曜日の 9 時から 12 時
	にも行うときがある。
授業外にお	自主的に、自分の研究テーマに関わる論文を検索して、読む。
ける学習	
教科書	
参考文献	各自で探す。
成績評価	セミナーにおいては、発表するか質問するかを義務とする。発言が無い人は、出席している
	と認めない。成績評価は、発言内容により行うので、発言が無いときには欠席と同じ評価と
	する。病欠や、やむを終えない事情による欠席は、カウントしない。

(秋~冬学期) 物性有機化学半期セミナー II

英語表記	Semestral Seminar in Physical Organic Chemistry II
授業コード	249484
No.	24CHEM6G209
単位数	4
担当教員	小川 琢治 居室:
質問受付	随時
履修対象	必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	最新の物性有機化学研究の現状を学ぶ。その内容を理解するのに必要な基礎的な文献を学
	చ్,
学習目標	自分の研究テーマに関わる過去から最新までの論文を検索読解する。自らの研究の進展につ
	いて報告し、研究室メンバーと議論する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	原則、毎週土曜日 10 時から 12 時。開講日数が足りないときには、月曜日の 9 時から 12 時
	にも行うときがある。
授業外にお	自主的に、自分の研究テーマに関わる論文を検索して、読む。
ける学習	
教科書	
参考文献	各自で探す。
成績評価	セミナーにおいては、発表するか質問するかを義務とする。発言が無い人は、出席している
	と認めない。成績評価は、発言内容により行うので、発言が無いときには欠席と同じ評価と
	する。病欠や、やむを終えない事情による欠席は、カウントしない。

(秋~冬学期) 有機生物化学半期セミナー I

英語表記	Semestral Seminar in Organic Biochemistry I
授業コード	249485
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	梶原 康宏 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	生体内に存在する糖鎖や関連蛋白質について解説し、これらの役割や現象、そして合成を理
	解することを目的とする。
学習目標	最先端の糖質研究、糖鎖科学、タンパク質化学を理解する
履修条件	特になし
特記事項	特になし
授業計画	1:最新糖質化学 1
	2:最新糖質化学 2
	3:最新糖鎖化学 1
	4:最新糖鎖化学 2
	5:最新タンパク質化学 1
	6:最新タンパク質化学 2
	7:最新糖タンパク質化学 1
	8:最新糖タンパク質化学 2
	9:最新複合糖質化学 1
	10:最新複合糖質化学 2
	11:タンパク質フォールディング 1
	12:タンパク質フォールディング 2
	13:翻訳後修飾 1
	14:翻訳後修飾 2
	15:翻訳後修飾 3
授業外にお	国際誌を常に読み先端研究の流れを理解する
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
コメント	特になし

(秋~冬学期) 有機生物化学半期セミナー II

	Consideration of Consideration Consideration of Considera
英語表記	Semestral Seminar in Organic Biochemistry II
授業コード	249486
No.	24CHEM6G216
単位数	4
担当教員	梶原 康宏 居室:
質問受付	随時
履修対象 ———	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	秋~冬学期
場所	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	生体内に存在する糖鎖や関連蛋白質について解説し、これらの役割や現象、そして合成を理
	解することを目的とする。
学習目標	最先端の糖質研究、糖鎖科学、タンパク質化学を理解する
履修条件	特になし
特記事項	特になし
授業計画	1:最新糖質化学 1
	2:最新糖質化学 2
	3:最新糖鎖化学 1
	4:最新糖鎖化学 2
	5:最新タンパク質化学 1
	6:最新タンパク質化学 2
	7:最新糖タンパク質化学 1
	8:最新糖タンパク質化学 2
	9:最新複合糖質化学 1
	10:最新複合糖質化学 2
	11:タンパク質フォールディング 1
	12:タンパク質フォールディング 2
	13:翻訳後修飾 1
	14:翻訳後修飾 2
	15:翻訳後修飾 3
授業外にお	国際誌を常に読み先端研究の流れを理解する
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、 成果、 各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
コメント	特になし

6 化学専攻 Bコース後期課程

ゲノム化学特別セミナ-I

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Genome Chemistry I
授業コード	241540
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	中谷 和彦 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	ゲノム化学に関わる諸課題を探索、提案するために、背景を知るとともに、その課題の本質
	的な意味を明らかにするための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識
	と技術を獲得する
学習目標	ゲノム化学に関わる諸課題を探索、提案するために、背景を知るとともに、その課題の本質
	的な意味を明らかにするための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識
	と技術を獲得できる
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	全体的に判断する
- 75.1	

ゲノム化学特別セミナ-II

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Genome Chemistry II
授業コード	241541
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	中谷 和彦 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	ゲノム化学に関わる諸課題を探索、提案するために、背景を知るとともに、その課題の本質
	的な意味を明らかにするための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識
	と技術を獲得する
学習目標	ゲノム化学に関わる諸課題を探索、提案するために、背景を知るとともに、その課題の本質
	的な意味を明らかにするための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識
	と技術を獲得できる
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	全体的に判断する
履修条件 特記事項 授業計画 授業外にお ける学習 教科書 参考文献	ゲノム化学に関わる諸課題を探索、提案するために、背景を知るとともに、その課題の本質的な意味を明らかにするための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識と技術を獲得できる

ゲノム化学特別セミナ-III

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Genome Chemistry III
授業コード	241542
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	中谷 和彦 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	ゲノム化学に関わる諸課題を探索、提案するために、背景を知るとともに、その課題の本質
	的な意味を明らかにするための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識
	と技術を獲得する
	ゲノム化学に関わる諸課題を探索、提案するために、背景を知るとともに、その課題の本質
	的な意味を明らかにするための実験の計画、実施、考察を通して、ゲノム化学に対する知識
	と技術を獲得できる
履修条件	
特記事項	
授業計画	
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	全体的に判断する
コメンル	

プロテオミクス分析化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Research in Analytical Chemistry for Proteomics I
授業コード	241552
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	高尾 敏文 居室 :
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	<到達目標 > 生命現象を蛋白質の構造と機能に基づいて理解できるようになること。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究に関連する文献等を利用して、独自の研究アイデアを醸成すること
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	ప .
コメント	学生の主体的研究が強く求められる。論文に書かれていることを単に理解し、その延長線上
	の実験をするのではなく、自ら独自の実験を計画し、そこから得られた知見を既存の事実と
	の関連において考察できる能力を培ってほしい。また、他者の発表に対しても積極的に発言
	し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

プロテオミクス分析化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Analytical Chemistry for Proteomics II
授業コード	241553
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	高尾 敏文 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	<到達目標 > 生命現象を蛋白質の構造と機能に基づいて理解できるようになること。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究に関連する文献等を利用して、独自の研究アイデアを醸成すること
ける学習	
教科書 	適宜指示する
参考文献 	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	3.
コメント	学生の主体的研究が強く求められる。論文に書かれていることを単に理解し、その延長線上
	の実験をするのではなく、自ら独自の実験を計画し、そこから得られた知見を既存の事実と
	の関連において考察できる能力を培ってほしい。また、他者の発表に対しても積極的に発言
	し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

プロテオミクス分析化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Analytical Chemistry for Proteomics III
授業コード	241554
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	高尾 敏文 居室 :
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	<到達目標 > 生命現象を蛋白質の構造と機能に基づいて理解できるようになること。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	研究に関連する文献等を利用して、独自の研究アイデアを醸成すること
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価す
	వ .
コメント	学生の主体的研究が強く求められる。論文に書かれていることを単に理解し、その延長線上
	の実験をするのではなく、自ら独自の実験を計画し、そこから得られた知見を既存の事実と
	の関連において考察できる能力を培ってほしい。また、他者の発表に対しても積極的に発言
	し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

機能性分子化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Research in Functional Molecular Chemistry I
授業コード	241546
No.	24CHEM7G205
単位数	9
担当教員	笹井 宏明 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
	新規性、先進性、独創性のある研究成果を得て、プレゼンする
	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日々の実験研究
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究成果とプレゼン

機能性分子化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Functional Molecular Chemistry II
	241547
No.	24CHEM7G205
単位数	9
担当教員	笹井 宏明 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	新規性、先進性、独創性のある研究成果を得て、プレゼンする
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日々の実験研究
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究成果とプレゼン

機能性分子化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Research in Functional Molecular Chemistry III
授業コード	241548
No.	24CHEM7G205
単位数	9
担当教員	笹井 宏明 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
	新規性、先進性、独創性のある研究成果を挙げて効果的にプレゼンする。
	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日々の実験研究
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究成果とプレゼン能力に基づいて評価する

構造有機化学特別セミナーⅠ

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Organic Chemistry I
授業コード	241525
No.	24CHEM7G209
単位数	9
担当教員	久保 孝史 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	構造有機化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思
	考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際
	には、その指導と助言も行う。
学習目標	π電子系有機化合物の合成に関する高度な専門知識と技術が習得できる。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学術文献と専門書を常日頃から読んでおく。
ける学習	
教科書	大学院講義有機化学、東京化学同人
	March's Advanced Organic Chemistry: Reactions, Mechanisms, and Structure
	Modern Physical Organic Chemistry
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果により評価する。
コメント	

構造有機化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Organic Chemistry II
授業コード	241526
No.	24CHEM7G209
単位数	9
担当教員	久保 孝史 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	構造有機化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思
	考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際
	には、その指導と助言も行う。
学習目標	π電子系有機化合物の合成に関する高度な専門知識と技術が習得できる。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学術文献と専門書を常日頃から読んでおく
ける学習	
教科書	大学院講義有機化学、東京化学同人
	March's Advanced Organic Chemistry: Reactions, Mechanisms, and Structure
-	Modern Physical Organic Chemistry
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果により評価する。

構造有機化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Organic Chemistry III
授業コード	241527
No.	24CHEM7G209
単位数	9
担当教員	久保 孝史 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	構造有機化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思
	考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文としてまとめる際
	には、その指導と助言も行う。
学習目標	π 電子系有機化合物の合成に関する高度な専門知識と技術が習得できる。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	学術文献と専門書を常日頃から読んでおく。
ける学習	
教科書	大学院講義有機化学、東京化学同人
	March's Advanced Organic Chemistry: Reactions, Mechanisms, and Structure
	Modern Physical Organic Chemistry
参考文献	
成績評価	研究に対する取り組み、およびその成果により評価する。
コメンル	

生体分子化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Molecular Biochemistry I
授業コード	241531
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	村田 道雄 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	生物化学、生物物理学およびそれらの基礎となる有機化学に関連した先端的な研究分野の専
	門的理解を深め、学位論文作成に役立てる。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日頃より原著論文を読み、自分の実験に行かせるか、結果の解釈に役立つかを考える習慣を
ける学習	つける。
教科書	原著論文を用いるので、教科書等は特に必要としない。
参考文献	
成績評価	セミナーやミーティングの出席と実験報告・文献紹介の評価で総合的に行う。原則的にすべ
	てのセミナーへに出席すること。

生体分子化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Molecular Biochemistry II
授業コード	241532
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	村田 道雄 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	生物化学、生物物理学およびそれらの基礎となる有機化学に関連した先端的な研究分野の専
	門的理解を深め、学位論文作成に役立てる。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日頃より原著論文を読み、自分の実験に行かせるか、結果の解釈に役立つかを考える習慣を
ける学習	身につける。
教科書	原著論文を用いるので、教科書等は特に必要としない。
参考文献	
成績評価	セミナーやミーティングの出席と実験報告・文献紹介の評価で総合的に行う。原則的にセミ
	ナーへは出席すること。
7.7.7.1	

生体分子化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Molecular Biochemistry III
授業コード	241533
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	村田 道雄 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
	生物化学、生物物理学およびそれらの基礎となる有機化学に関連した先端的な研究分野の専
	門的理解を深め、学位論文作成に役立てる。
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	日頃より原著論文を読み、自分の実験に行かせるか、結果の解釈に役立つかを考える習慣を
ける学習	身につける。
教科書	原著論文を用いるので、教科書等は特に必要としない。
参考文献	
成績評価	出席点を重視する。セミナーやミーティングの出席と実験報告・文献紹介の評価で総合的に
	行う。原則的にセミナーへは出席すること。

蛋白質分子化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Protein Chemistry I
授業コード	241549
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	北條 裕信 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	タンパク質、糖タンパク質の化学合成ルートをデザインできるようになること
	タンパク質、糖タンパク質の機能解析の基礎ができること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	随時論文をサーチすること。
ける学習	
教科書	適宜配布する。
参考文献	適宜助言する。
成績評価	実験に対する取り組み、自主的な文献調査、実験報告会でのプレゼン、学会発表、雑誌への
	投稿意欲、等を総合的に判断する。

蛋白質分子化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Protein Chemistry II
授業コード	241550
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	北條 裕信 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
	タンパク質、糖タンパク質の化学合成ルートをデザインできるようになること
	タンパク質、糖タンパク質の機能解析の基礎ができること
履修条件	後期課程における指導教員の担当している科目 (特別セミナー) を履修すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	随時論文をサーチすること。
ける学習	
教科書	適宜配布する。
参考文献	適宜助言する。
成績評価	実験に対する取り組み、自主的な文献調査、実験報告会でのプレゼン、学会発表、雑誌への
	投稿意欲、等を総合的に判断する。
	·

蛋白質分子化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Protein Chemistry III
授業コード	241551
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	北條 裕信 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	実験科目
目的と概要	有機化学および生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を通じて、広い視野
	と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果を博士論文として
	まとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	タンパク質、糖タンパク質の化学合成ルートをデザインできるようになること
	タンパク質、糖タンパク質の機能解析の基礎ができること
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	随時論文をサーチすること。
ける学習	
教科書	適宜配布する。
参考文献	適宜助言する。
成績評価	実験に対する取り組み、自主的な文献調査、実験報告会でのプレゼン、学会発表、雑誌への
	投稿意欲、等を総合的に判断する。

天然物有機化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Natural Product Chemistry I
授業コード	241537
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	深瀬 浩一 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を
	通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果
	を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を
	通じて、広い視野と柔軟な思考力を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定するが、代表的な研究例を以下に示す。様々な生物活性
	分子の中でも、免疫、感染、アレルギー、癌化など生体の防御や恒常性維持などの重要な生
	命現象に関わる分子を主な対象として、それらの機能や役割を明らかにする研究を行う。特
	に生体内における様々な認識に関与する細胞表層糖鎖ならびに複合糖質を主な対象として、
	有機合成化学を主としたアプローチにより、活性鍵構造の同定と活性発現機構の解明や生体
	反応の制御を目指した研究を展開する。また生体分子の体内における動的挙動を解明するた
	めに、新たな標識化法の開発とイメージングへの展開についても研究を行う。
	最先端の天然物化学、有機化学、有機生物化学などに加え、関連する生物学、免疫学などに
	ついても調査研究を行うとともに、セミナー発表、学会発表、論文作成を通じて、企画力な
	らびに発表力を養う。
授業外にお	研究のために、期間を通じて常に学習を継続する。
ける学習	
教科書	指定しない
参考文献	指定しない
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。

天然物有機化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Natural Product Chemistry II
授業コード	241538
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	深瀬 浩一 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を
	通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果
	を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野について、研究遂行能力を獲得す
	る。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定するが、代表的な研究例を以下に示す。様々な生物活性
	分子の中でも、免疫、感染、アレルギー、癌化など生体の防御や恒常性維持などの重要な生
	命現象に関わる分子を主な対象として、それらの機能や役割を明らかにする研究を行う。特
	に生体内における様々な認識に関与する細胞表層糖鎖ならびに複合糖質を主な対象として、
	有機合成化学を主としたアプローチにより、活性鍵構造の同定と活性発現機構の解明や生体
	反応の制御を目指した研究を展開する。また生体分子の体内における動的挙動を解明するた
	めに、新たな標識化法の開発とイメージングへの展開についても研究を行う。
	最先端の天然物化学、有機化学、有機生物化学などに加え、関連する生物学、免疫学などに
	ついても調査研究を行うとともに、セミナー発表、学会発表、論文作成を通じて、企画力な
	らびに発表力を養う。
授業外にお	研究のために、期間を通じて常に学習を継続する。
ける学習 	
教科書	指定しない
参考文献 	指定しない
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。

天然物有機化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Natural Product Chemistry III
授業コード	241539
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	深瀬 浩一 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を
	通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果
	を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	先端的な研究の指導を通じて、広い視野と柔軟な思考力を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定するが、代表的な研究例を以下に示す。様々な生物活性
	分子の中でも、免疫、感染、アレルギー、癌化など生体の防御や恒常性維持などの重要な生
	命現象に関わる分子を主な対象として、それらの機能や役割を明らかにする研究を行う。特
	に生体内における様々な認識に関与する細胞表層糖鎖ならびに複合糖質を主な対象として、
	有機合成化学を主としたアプローチにより、活性鍵構造の同定と活性発現機構の解明や生体
	反応の制御を目指した研究を展開する。また生体分子の体内における動的挙動を解明するた
	めに、新たな標識化法の開発とイメージングへの展開についても研究を行う。
	最先端の天然物化学、有機化学、有機生物化学などに加え、関連する生物学、免疫学などに
	ついても調査研究を行うとともに、セミナー発表、学会発表、論文作成を通じて、企画力な
	らびに発表力を養う。
授業外にお	研究のために、期間を通じて常に学習を継続する。
ける学習	
教科書	指定しない
参考文献	指定しない
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
7721	

物性有機化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Physical Organic Chemistry II
授業コード	241529
No.	24CHEM7G209
 単位数	9
 担当教員	小川 琢治 居室:
質問受付	随時
履修対象	必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	研究室内において行われている研究内容について、研究者による発表と議論を行い、研究内
	容を深めると同時に、知識を深める。
学習目標	自らの研究内容について説明し、最近1ヶ月程度の研究の進展について報告する。その結果
	を研究室全体で議論して、研究内容についての議論を深める。他の学生やスタッフの研究内
	容についても、質問や議論を行う事で、研究を行う上で必要なロジックや基礎知識を身につ
	ける。
履修条件 —————	
特記事項	
授業計画	原則、毎週水曜日の 9 時から 12 時に行う。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	成績評価は、出席と発言で行う。病欠や、やむを終えない事情による欠席は、欠席とカウン
	トしない。

物性有機化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Physical Organic Chemistry III
授業コード	241530
No.	24CHEM7G209
単位数	9
担当教員	小川 琢治 居室:
質問受付	随時
	必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	研究室内において行われている研究内容について、研究者による発表と議論を行い、研究内
	容を深めると同時に、知識を深める。
	自らの研究内容について説明し、最近1ヶ月程度の研究の進展について報告する。その結果
	を研究室全体で議論して、研究内容についての議論を深める。他の学生やスタッフの研究内
	容についても、質問や議論を行う事で、研究を行う上で必要なロジックや基礎知識を身につ
	ける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	原則、毎週水曜日の9時から12時に行う。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	成績評価は、出席と発言で行う。病欠や、やむを終えない事情による欠席は、欠席とカウン
	トしない。

有機生物化学特別セミナーI

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Organic Biochemistry I
授業コード	241534
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	梶原 康宏 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	生体内に存在する糖鎖や関連蛋白質について解説し、これらの役割や現象、そして合成を理
	解することを目的とする。
学習目標	最先端の糖質研究、糖鎖科学、タンパク質化学を理解する
履修条件	特になし
特記事項	特になし
授業計画	【講義内容】

配属された研究室において、各自が各々選択した化学に関する最新のテーマについて研究を 行う。

- 第1回:研究テーマの概要説明
- 第2回:研究に必要な課題の修得
- 第3回:研究に必要な課題の修得
- 第4回:研究に必要な課題の修得
- 第5回:研究に必要な課題の修得
- 第6回:研究に必要な課題の修得
- 第7回:研究に必要な課題の修得
- 第8回:研究に必要な課題の修得
- 第9回:研究に必要な課題の修得
- 第10回:研究に必要な課題の修得
- 第11回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第12回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第13回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第14回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第15回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第16回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第17回:学生が選んだテーマの課題研究の実施 第18回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第19回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第20回:学生が選んだテーマの課題研究の中間報告
- 第21回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第22回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第23回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第24回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第25回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第26回:学生が選んだテーマの課題研究の実施

6. 化学専攻 B コース後期課程

第 27 回:学生が選んだテーマの課題研究の研究報告の作製についての説明 第 28 回:学生が選んだテーマの課題研究の実施 第 29 回:学生が選んだテーマの課題研究の口頭発表

第 30 回:学生が選んだテーマの課題研究のレポート提出と修正

授業外にお	国際誌を常に読み先端研究の流れを埋解する
ける学習	
教科書	適宜指示する
参考文献	適宜指示する
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、 成果、 各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価
	する。
	ALC: A S

有機生物化学特別セミナーII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Organic Biochemistry II
授業コード	241535
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	梶原 康宏 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	生体内に存在する糖鎖や関連蛋白質について解説し、これらの役割や現象、そして合成を理
	解することを目的とする。
学習目標	最先端の糖質研究、糖鎖科学、タンパク質化学を理解する
履修条件	特になし
特記事項	特になし
授業計画	【講義内容】

配属された研究室において、各自が各々選択した化学に関する最新のテーマについて研究を 行う。

- 第1回:研究テーマの概要説明
- 第2回:研究に必要な課題の修得
- 第3回:研究に必要な課題の修得
- 第4回:研究に必要な課題の修得
- 第5回:研究に必要な課題の修得
- 第6回:研究に必要な課題の修得
- 第7回:研究に必要な課題の修得
- 第8回:研究に必要な課題の修得
- 第9回:研究に必要な課題の修得
- 第10回:研究に必要な課題の修得
- 第11回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第12回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第13回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第14回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第15回:学生が選んだテーマの課題研究の実施 第16回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第17回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第18回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第19回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第20回:学生が選んだテーマの課題研究の中間報告
- 第21回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第22回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第23回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第24回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第25回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第26回:学生が選んだテーマの課題研究の実施

6. 化学専攻 B コース後期課程

第 27 回:学生が選んだテーマの課題研究の研究報告の作製についての説明 第 28 回:学生が選んだテーマの課題研究の実施 第 29 回:学生が選んだテーマの課題研究の口頭発表

界 25 回・子工が送がたり 、の味趣明元の自興元教

授業外にお 国際誌を常に読み先端研究の流れを理解する

第 30 回:学生が選んだテーマの課題研究のレポート提出と修正

ける学習

教科書 適宜指示	する		
软件音 则且拍小	9 2		
参考文献 適宜指示	する		
成績評価 研究課題 する。	に対する取り組み姿勢、	成果、	各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価

コメント 特になし

有機生物化学特別セミナーIII

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Organic Biochemistry III
授業コード	241536
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	梶原 康宏 居室:
質問受付	随時
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	講義科目
目的と概要	生体内に存在する糖鎖や関連蛋白質について解説し、これらの役割や現象、そして合成を理
	解することを目的とする。
学習目標	最先端の糖質研究、糖鎖科学、タンパク質化学を理解する
履修条件	特になし
特記事項	特になし
授業計画	【講義内容】

配属された研究室において、各自が各々選択した化学に関する最新のテーマについて研究を 行う。

- 第1回:研究テーマの概要説明
- 第2回:研究に必要な課題の修得
- 第3回:研究に必要な課題の修得
- 第4回:研究に必要な課題の修得
- 第5回:研究に必要な課題の修得
- 第6回:研究に必要な課題の修得
- 第7回:研究に必要な課題の修得
- 第8回:研究に必要な課題の修得
- 第9回:研究に必要な課題の修得
- 第10回:研究に必要な課題の修得
- 第11回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第12回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第13回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第14回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第15回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第 16 回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第17回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第18回:学生が選んだテーマの課題研究の実施 第19回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第20回:学生が選んだテーマの課題研究の中間報告
- 第21回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第22回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第23回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第24回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第25回:学生が選んだテーマの課題研究の実施
- 第26回:学生が選んだテーマの課題研究の実施

6. 化学専攻 B コース後期課程

第 27 回:学生が選んだテーマの課題研究の研究報告の作製についての説明 第 28 回:学生が選んだテーマの課題研究の実施 第 29 回:学生が選んだテーマの課題研究の口頭発表

第30回:学生が選んだテーマの課題研究のレポート提出と修正

授業外における学習国際誌を常に読み先端研究の流れを理解する
ける学習教科書適宜指示する参考文献適宜指示する成績評価研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢等により総合的に評価する。

コメント 特になし

7 化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 前期課程 (秋入学者用)

7. 化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 前期課程 (秋入学者用)

インタラクティブセミナーI(化学専攻)

英語表記	Interactive Seminar I
授業コード	241182
No.	24CHEM6G014
単位数	1
担当教員	化学専攻教務委員 居室:
質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	近年の科学は、非常に細かい専門分野に細分化され、各分野とも高度化・専門化し、その専
	門知識を修得するのは容易ではない。そのため、ともすれば細分化された非常に狭い専門分
	野のみの学習・研究のみに汲々とし、専門分野以外の基本的知識の欠如さらには無関心とい
	う問題を引き起こしている。そこで、本セミナーでは、他の研究室が主催するセミナーに参
	加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上で、自身の修士論文の研究に対して、
	異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を受ける。
学習目標	化学に対する広い視野を身につける
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	他の研究室が主催するセミナーに参加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上
	で、自身の修士論文の研究に対して、異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を
	受ける。
	【授業計画】
	他の研究室が主催するセミナーに参加する。
授業外にお	関連する文献を読む
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、レポート、テストなどにより総合的に評価
コメント	

210

化学アドバンスト実験

 英語表記	Advanced Chemical Experiment
	241176
No.	24CHEM6G206
	1
 担当教員	
担当教員	高城 大輔 居室:
	平尾 泰一 居室:
	水野 操 居室:
	下山 敦史 居室:
	鈴木 健之 居室:
	深瀬 浩一 居室:
	福田 貴光 居室:
 質問受付	
	化学専攻 博士前期課程 各学年 選択必修
開講時期	集中
場所	未定
授業形態	実習科目
 目的と概要	化学、高分子科学、生物科学間の境界領域での研究を大学院レベルですすめる際には、専門
	分野を越えて要求される先端的かつ高度な研究法を習得する必要が出てくる。そのような
	方法を効率良く身につけるため、講義と実習をあわせた集中的な講習を行い、各種実験手法
	の原理や使い方を学習する。専門以外の分野での実験手法を広く知り、その基本技術を習得
	し、研究の幅広い展開のために役立てる実践的科目である。
	各種実験手法について、原理を学習し、基本技術を習得する。
	講習には種目に応じて定員が決まっているため、希望しても必ずしも全員が受講できるとは
	限らない。
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	以下の講習の中から複数種目を受講する。
	1) NMR 分析講習
	2) 質量分析講習
	3) X 線回折講習
	4) ラマン・赤外スペクトル測定講習
	5) 熱分析講習
	6) 微細構造制御実習
	7) 磁化率測定 (SQUID) 講習
	8) 電子スピン共鳴 (ESR) 講習
授業外にお	実習に関連した復習をする。
ける学習	
ᄁᇰᅮᆸ	ボカトウッ ル - ドートゥ
 教科書	講習内容ごとに指示する。
	講習内容ことに指示する。
教科書	講習内容ことに指示する。 講習ごとに評価する。講習修了後に修了証を発行する。
教科書 参考文献	

- 7. 化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 前期課程 (秋入学者用)
 - *豊中キャンパスの学生
 - 4月上旬の説明会に必ず参加すること。
 - *産研の学生
 - 4月中旬の「新入生のための機器分析講習会」に必ず参加すること。
 - *蛋白研の学生

藤原研究室で講習を受けること。

インタラクティブセミナーI(化学専攻)(博士前期課程秋 入学者用)

 英語表記	Interactive Seminar I
授業コード	247033
No.	24CHEM6G014
単位数	1
担当教員	
 質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	年度跨り
場所	その他
授業形態	
目的と概要	近年の科学は、非常に細かい専門分野に細分化され、各分野とも高度化・専門化し、その専
	門知識を修得するのは容易ではない。そのため、ともすれば細分化された非常に狭い専門分
	野のみの学習・研究のみに汲々とし、専門分野以外の基本的知識の欠如さらには無関心とい
	う問題を引き起こしている。そこで、本セミナーでは、他の研究室が主催するセミナーに参
	加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上で、自身の修士論文の研究に対して、
	異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を受ける。
学習目標	化学に対する広い視野を身につける
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	他の研究室が主催するセミナーに参加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上
	で、自身の修士論文の研究に対して、異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を
	受ける。
	【授業計画】
	他の研究室が主催するセミナーに参加する。
授業外にお	関連する文献を読む
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	出席、レポート、テストなどにより総合的に評価
コメント	

インタラクティブセミナー II(化学専攻)(博士前期課程 秋入学者用)

	Interactive Seminar II
授業コード	247034
No.	24CHEM6G014
	1
	工 化学専攻教務委員 居室:
担当教員	化子等攻狄彻安貝 店至:
質問受付 	化学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
	121 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21
開講時期	年度跨り
場所	その他
授業形態	
目的と概要	近年の科学は、非常に細かい専門分野に細分化され、各分野とも高度化・専門化し、その専
	門知識を修得するのは容易ではない。そのため、ともすれば細分化された非常に狭い専門分
	野のみの学習・研究のみに汲々とし、専門分野以外の基本的知識の欠如さらには無関心とい
	う問題を引き起こしている。そこで、本セミナーでは、他の研究室が主催するセミナーに参
	加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上で、自身の修士論文の研究に対して、
	異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を受ける。
学習目標	化学に対する広い視野を身につける
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	他の研究室が主催するセミナーに参加し、その分野の先端的な研究状況の理解を深めた上
	で、自身の修士論文の研究に対して、異なる分野からの意見を聞き、議論をし、また指導を
	受ける。
	【授業計画】
	他の研究室が主催するセミナーに参加する。
授業外にお	関連する文献を読む
ける学習	
教科書	
参考文献	
	出席、レポート、テストなどにより総合的に評価
コメント	

化学アドバンスト実験(秋入学者用)

	Advanced Chemical Experiment
授業コード	247050
No.	24CHEM6G206
	1
 担当教員	
担当教奠	高城 大輔 居室:
	平尾 泰一 居室:
	水野 操 居室:
	下山 敦史 居室:
	鈴木 健之 居室:
	福田 貴光 居室:
 質問受付	
履修対象	化学専攻 博士前期課程 (秋入学者用) 各学年 選択必修
開講時期	年度跨り
場所	未定
授業形態	実験科目
目的と概要	化学、高分子科学、生物科学間の境界領域での研究を大学院レベルですすめる際には、専門
	分野を越えて要求される先端的かつ高度な研究法を習得する必要が出てくる。そのような
	方法を効率良く身につけるため、講義と実習をあわせた集中的な講習を行い、各種実験手法
	の原理や使い方を学習する。専門以外の分野での実験手法を広く知り、その基本技術を習得
	し、研究の幅広い展開のために役立てる実践的科目である。
 学習目標	各種実験手法について、原理を学習し、基本技術を習得する。
	BMC インテグレーティッド教育プログラムに関係した専攻の博士前期課程。講習には種目
	に応じて定員が決まっているため、希望しても必ずしも全員が受講できるとは限らない。
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	以下の講習の中から複数種目を受講する。
	1) NMR 分析講習
	2) 質量分析講習
	3) X 線回折講習
	4) ラマン・赤外スペクトル測定講習
	5) 熱分析講習
	6) 微細構造制御実習
	7) 磁化率測定 (SQUID) 講習
	8) 電子スピン共鳴 (ESR) 講習
授業外にお	実習に関連した復習をする。
ける学習	
教科書	講習内容ごとに指示する。
参考文献	
成績評価	講習ごとに評価する。講習修了後に修了証を発行する。
コメント	それぞれの講習の時期、スケジュールについては変則的になるためアナウンス、掲示に注意
	すること。選択した講習には全時間出席することを単位取得の前提条件とする。

7. 化学専攻 A・B コース共通 BMC 科目 前期課程 (秋入学者用)

※秋入学者用時間割コードです。

8 化学専攻 Αコース後期課程 (秋入学者用)

核化学特別セミナーAIII(秋入学者用)

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Nuclear Chemistry AIII
授業コード	247069
No.	24CHEM7G012
単位数	9
担当教員	篠原 厚 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	年度跨り
場所	その他
授業形態	実習科目
目的と概要	分析化学、無機化学、放射化学および物理化学に関連した分野についての先端的な研究の指
	導を通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究
	成果を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言を行う。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	各研究室で個別に行う。
	各研究室における研究内容は「化学専攻・専攻紹介」を参照されたい。
授業外にお	
ける学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表により総合的に評価する。
7.73.1	

生体分子機能構造計測学特別セミナー II(秋入学者用)

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Molecular Biology II
授業コード	247095
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	年度跨り
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、維持されている。本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するために、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
 学習目標	当該分野の基礎学習に基づいて,研究論文を口頭発表できるようになること
	物理化学、構造生物学についての基礎知識を有すること
特記事項	以之に1,福廷工図1に > C C 公至版/AIM と ら う る C C
授業計画	【講義内容】
技未 前	【講義内各】 具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものである。
	核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体 NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	
教科書	適宜指示する。
	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価する。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでない、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレートすることで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者の発表に対しても積極的に発言し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を培ってほしい。

生体分子機能構造計測学特別セミナーIII(秋入学者用)

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Structural Molecular Biology III
授業コード	247096
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	藤原 敏道 居室:
質問受付	
履修対象 —————	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	年度跨り
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	生命活動は分子が分子間の相互作用をとおして高度に組織化されて働くことにより、 維持
	されている。 本講義では生命現象を分子の構造と分子間相互作用に基づいて理解するため
	に、核磁気共鳴法を用いた生体分子構造の解析とそれに基づく生命現象の解析の最前線を学
	ぶ。これまでに測定ができなかった構造機能情報を得るための実験法開発についても学ぶ。
	関連の基礎的な知識および実験技術の理解にも努める。実験を自らデザイン、実施し、成
	果を取りまとめる能力を育てる。具体的には、専門書や最新論文の読解および批判的論評、
	研究デザインに関する議論、自身の研究結果の取りまとめと発表、他研究者とのさまざまな
	研究連絡、プレゼンテーションの訓練などが含まれる。
学習目標	当該分野の基礎学習に基づいて, 研究論文を口頭発表できるようになること
履修条件	物理化学, 構造生物学についての基礎知識を有すること
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的課題は、教員と相談の上で決定する。主として扱うトピックは以下のようなものであ
	る。
	核磁気共鳴法による生体分子構造研究の基本戦略、溶液 NMR における先端的研究法、固体
	NMR における先端的研究法、テラヘルツ波を利用した NMR の超高感度化とその応用、エ
	ネルギー変換系の生物学、古細菌ロドプシンなど膜タンパク質複合体の機能発現の構造的基
	礎、生物情報伝達系の特徴、受容体とリガンドの相互作用、生体超分子系の NMR による解
	析法の開発。
授業外にお	関連する構造生物学に関する論文の購読
ける学習	
教科書	適宜指示する。
参考文献	適宜指示する。
成績評価	研究課題に対する取り組み姿勢、成果、各種発表への取り組み姿勢により総合的に評価す
	る。
コメント	学生の主体的参加が強く求められる。購読する論文に書かれていることを理解するだけでな
	い、そのことが他の知識とどのような関連性を持っているのか、他の知識とインテグレート
	することで、どのような考察が可能であるかを考えていく、積極的な姿勢である。また他者
	の発表に対しても積極的に発言し、問題を解決するだけでなく、問題を発見していく能力を
	培ってほしい。

生物物理化学特別セミナーIII(秋入学者用)

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Biophysical Chemistry III
授業コード	247105
No.	24CHEM7G200
単位数	9
担当教員	水谷 泰久 居室:
質問受付	
履修対象	
開講時期	年度跨り
場所	その他
授業形態	
目的と概要	生物物理化学に関連した先端的な研究分野について基礎的な理解を深め、具体的な研究の進
	め方や考え方などについて指導を行う。研究成果を博士論文としてまとめる際には、その指
	導と助言を行う。
学習目標	生物物理化学化学に関連した分野について、基礎的な研究遂行能力を獲得する。
履修条件	特になし
特記事項	
授業計画	生物物理化学に関する先端的研究課題の指導を行う。先端的分光法を用いたタンパク質の機
	能発現機構解明について基礎から最新の研究を学ぶ。また、学会発表や論文作成など研究成
	果のまとめ方や発表の方法について学ぶ。
授業外にお	関連分野に関する文献を読み、生物物理化学に対する理解を深める。
ける学習	
教科書	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
コメント	

- 9. 化学専攻 B コース後期課程 (秋入学者用)
- 9 化学専攻 Bコース後期課程 (秋入学者用)

天然物有機化学特別セミナーIII(秋入学者用)

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Natural Product Chemistry III
授業コード	247078
No.	24CHEM7G216
単位数	9
担当教員	深瀬 浩一 居室:
質問受付	
履修対象	化学専攻 博士後期課程 各学年 選択必修
開講時期	年度跨り
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を
	通じて、広い視野と柔軟な思考力をもつ研究者を育成することを目的としている。研究成果
	を博士論文としてまとめる際には、その指導と助言も行う。
学習目標	天然物化学、有機化学および有機生物化学に関連した分野についての先端的な研究の指導を
	通じて、広い視野と柔軟な思考力を獲得する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】
	具体的な課題は教員と相談の上決定するが、代表的な研究例を以下に示す。様々な生物活性
	分子の中でも、免疫、感染、アレルギー、癌化など生体の防御や恒常性維持などの重要な生
	命現象に関わる分子を主な対象として、それらの機能や役割を明らかにする研究を行う。特
	に生体内における様々な認識に関与する細胞表層糖鎖ならびに複合糖質を主な対象として、
	有機合成化学を主としたアプローチにより、活性鍵構造の同定と活性発現機構の解明や生体
	反応の制御を目指した研究を展開する。また生体分子の体内における動的挙動を解明するた
	めに、新たな標識化法の開発とイメージングへの展開についても研究を行う。
	最先端の天然物化学、有機化学、有機生物化学などに加え、関連する生物学、免疫学などに
	ついても調査研究を行うとともに、セミナー発表、学会発表、論文作成を通じて、企画力な
	らびに発表力を養う。
授業外にお	研究のために、期間を通じて常に学習を継続する。
ける学習	
教科書	指定しない
参考文献	指定しない
成績評価	研究、セミナー発表、学会発表、作成した論文内容により総合評価する。
7 / 5/ 1	

9. 化学専攻 B コース後期課程 (秋入学者用)

発行年月日 平成30年4月11日

発行 大阪大学大学院理学研究科 大学院係

製版 大阪大学大学院理学研究科 物理学専攻 山中 卓

URL http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/campuslife/coursedesciption_d/

この冊子は、KOAN のデータを元に Python 2.7 と $\mathrm{MacT_EX2017}$ を用いて自動生成しました。 レイアウトは大阪大学コミュニケーションデザイン・センターのシラバスを参考にしました。